

平成二十八年十一月一日発行（毎月一回一日）  
書象 第六十四卷 第十一号 通巻七三三号



日本書道芸術協会

2016- 11

# 卷頭言

## 目習い

副理事長 樋口玄山

手。手と言えば手なのですが、手の内、手の者、火の手、山の手…、いろんな意味に使います。そして手習い。「手」は文字を表し、漢字を男手、仮名を女手と言ったのはよく知られています。手習いは習字のことでありました。

さて、「手習い」だけが言葉として表通りを歩いてきたのですが、実は習字には「目習い」もあります。「あの家系の人々は手の筋がいい」とか「小学校の担任の先生の板書がきれいだと子供はそれに染まる」とか言われます。いいものをいつも目にしていくれば目が肥える訳です。知らず知らずに「目習い」をしていることになります。環境が字を上達させるのです。しかし、家系にしる担任の先生にしろ、これは偶然や幸運に頼るしかありません。でもしかし、そうではない環境にいる人にも今の時代、美術館があり、博物館があり、各種展覧会があります。世の中全体の環境が良くなっています。これを生かさない手はありません。美術館に行きましょう。写真やテキストと違います。本物のいいものに出会えば感動します。そして余裕があれば、何がいいのか、どうして美しいのかを考えてみましょう。それが「目習い」になります。

「手習い」の技術はスポーツのトレーニングと同じように、ちょっと休めば後退しがちです。「たゆまず」が肝要です。一方、「目習い」で得られる書の鑑賞眼、書の心に後退はありません。一生ものになります。美術館に通いましょう。

そして、目指すは、上條先生の作品にある「心手相忘」の世界でしょう。

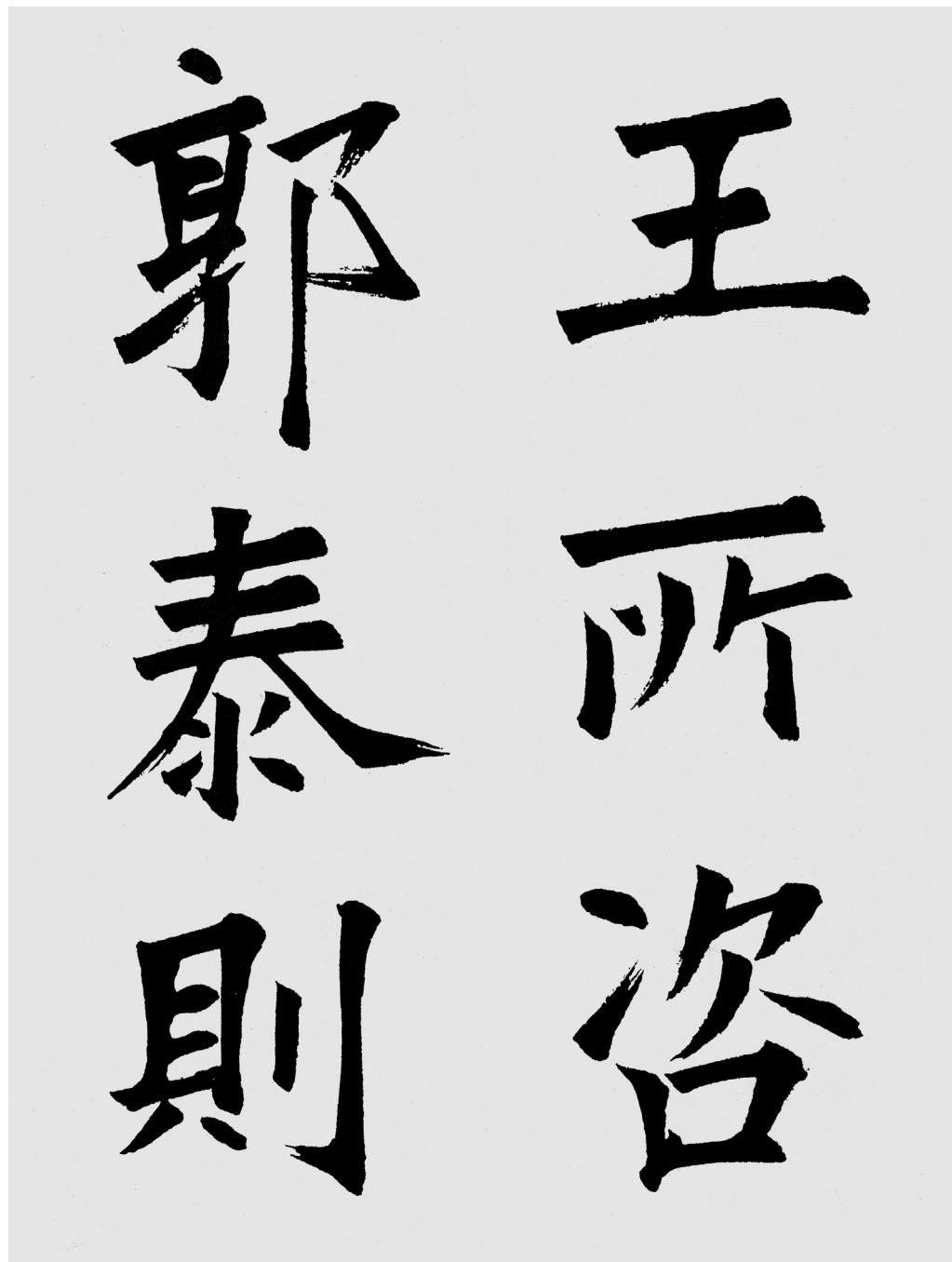


上條信山先生書 色紙「心手相忘」



天高くして氣清し

11月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付



則 所 咨 王

郭 泰

- ・横画の方向を統一させて、引き締った線で書きたい。
- ・行の中心を通す。特に二行目。
- ・偏と旁などの部分のつり合いにも気をつけたい。

（號）叔乃（文王…）



「叔」

・点の大きさ、角度、  
間隔に気をつける。

・筆先の弾力を意識し  
て、大きく運筆する。  
・起筆、収筆、転折に  
注意する。



「乃」  
・一画目の左払いは紙  
面中央から書き始め  
る。

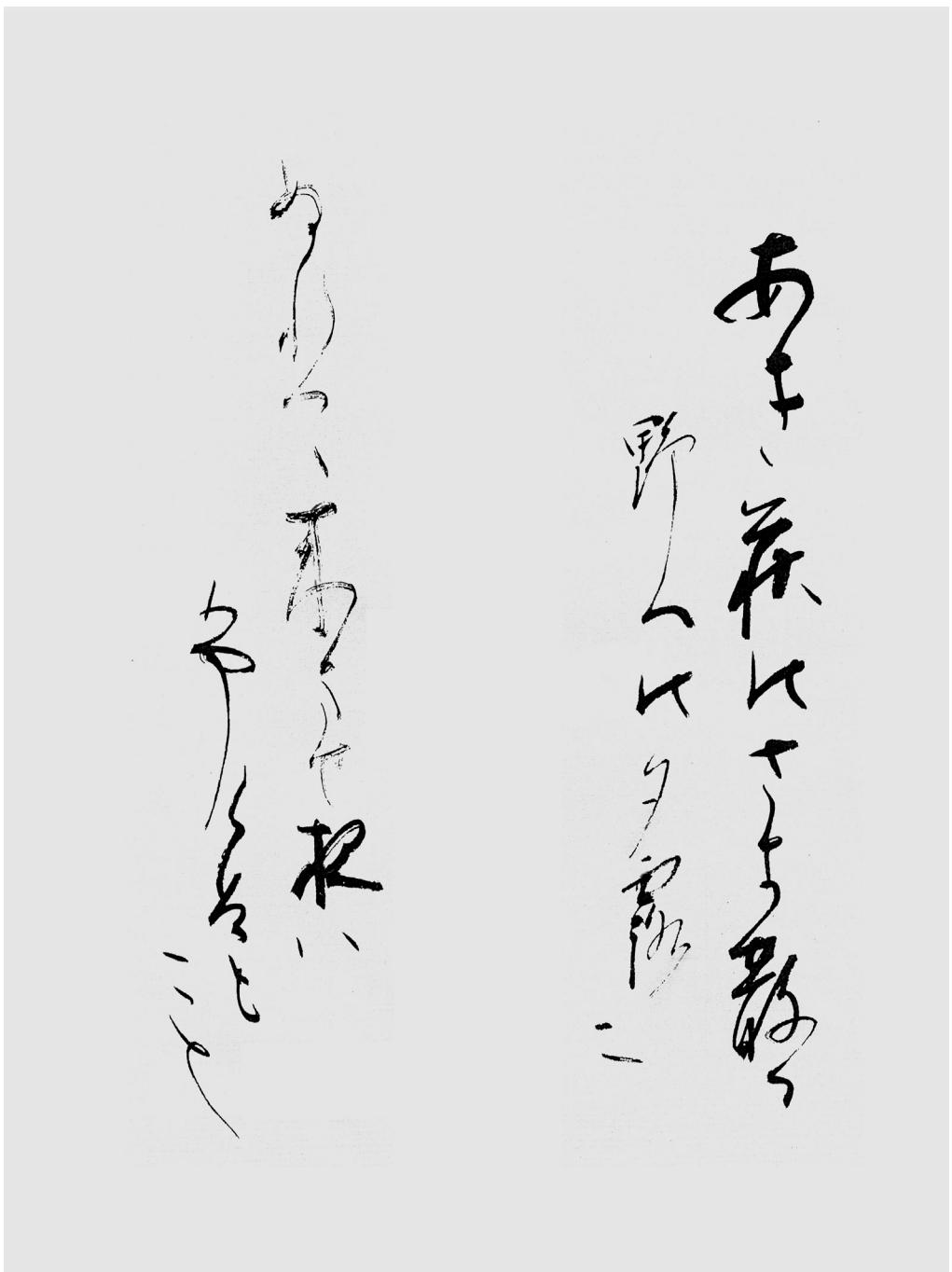


仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

・中央の空間をアクセントとした、左右二集団からなる構成。

・行頭、行末の位置に変化をつけ、紙面を広く使うのがポイント。



「來」

〔來〕

「露」

〔露〕

「野」

〔野〕

「散」

〔散〕

あき萩の(能)さき(支)散る野べの(能)夕露に(ノ)  
ぬれつゝ来ま(万)せ夜は(ハ)ふ(布)け(介)ぬとも(毛)

(万葉集)

11月20日必着  
出品券を貼付

仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

・中心となる線を書いて練習するとよい。

「さくら  
あじさ（佐）い  
つ（徒）くし  
すみれ」

さ  
く  
ら  
あ  
じ  
さ  
（  
佐  
）  
い

あ  
じ  
さ  
（  
佐  
）  
い

「あ  
じ  
さ  
（  
佐  
）  
い」

さ  
く  
ら  
あ  
じ  
さ  
（  
佐  
）  
い  
つ  
（  
徒  
）  
く  
し  
す  
み  
れ

「す  
み  
れ」

さくら あじさ（佐）い つ（徒）くし すみれ

研究 [研究]

張猛龍碑

釈文 (式て) 英徽を (誕う)。高山は仰ぎ止め、



写実的臨書

市澤静山先生書

表現的臨書 (信山流)

虎井暁鐘先生書

今月のポイント  
逆筆を強く当てる。

「英徽」は異体字であるが原典に従う。  
写実か表現的臨書どちらか選び、  
美しい滲みによる屋漏痕の効果を狙つ  
てほしい。



11月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

※どちらか一体を出品してください。

風急猿嘯哀

風急猿嘯哀

調和体条幅隨意【条隨】

内藤望山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

- ・線の太細や偏旁の組み合わせ方を見落とさない。
- ・波磔が単調にならないよう工夫したい。
- ・「風急猿嘯哀」はP14参照。

江路東ニ連ナリ千里ノ瀬青雲北ニ望メバ

紫微遙カナリ道ヲ美カレ巴陵湖水涸シト

長沙ハ南畔更ニ蕭條タラン

賈至詩 望山

江路東に連なる千里の瀬青雲北に望めば紫微遙かなり  
道よりうなづく水閣しと長沙は南畔更に蕭條たらん（賈至詩）

- ・文字の大小、長短を意図的に表現する。
- ・墨つけの位置をはつきり、特に中央部はやや太め大きめに強く見せる。

晚秋  
静か  
す

中学一年規定【学毛】

樋口玄山先生書

豈  
今  
は

中学二・三年規定【学毛】

田中節山先生書

小学五年規定【学毛】

中村巍山先生書

地月球と

小学六年規定【学毛】

秋の暖かな日を春のようだと言う

石丸曉風先生書

日暮春和

吉  
喜  
樂

小学三年規定【學毛】

杉山曉雲先生書

恩  
喜  
樂

小学四年規定【學毛】

小湖石峯先生書

小学一年規定

【學毛】

柳澤玄嶽先生書

中古

小学二年規定

【學毛】

末永曉華先生書

古今

## 硬筆規定

一般規定【二硬】(師範・準師範・段位)  
とお案じ申し(志)上げとり急ぎ書中御見舞までか  
申し上げ(介)ます(春)

上條信山先生書

颶風丁寧なれどいゝ有りと  
ち葉(「葉」に下へと引く字をや)

け見舞(「舞」に下へと引く字をや)

一般規定【二硬】(級位)  
藤岡月華先生書

秋陣嘗の霜の色なきゆくかゝの  
數々(「う」の形に注意。劍に照り)

首の先今いづこ

中学規定【学硬】

二瓶嶽風先生書

風に吹かれてふりそぐ落葉。  
並木道には何かものさびしさ  
を感じさせる。

支部 段級位  
名

## 小・中学生随意課題【字隨】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。  
出品券を貼付して下さい。

小 五・六年 学	空
中 学	夕食
中 学	準備

### 手本解説

・硬筆一般規定(師範・準師範・段位)

「颶風」「如何」「見舞」は左図参照。

颶風 夕食 見舞

・隸書条幅隨意 「風急猿嘯哀」は左図参照。

風急猿嘯哀

### 学生部規定

今年は

豊作

中学二・三年

「今」の左右の払いは最大幅に。「年」は  
一画目の角度、横画の長短が重要。「は」  
は最後の結びの形に注意。「豊」の横画  
は平行に。最終画を長くして安定感を図る。  
「作」は偏を小ぶりにまとめる。

晚秋 静かな

中学一年

「静」は横画の角度、間隔を揃え、偏旁  
の位置関係に注意。「か」「な」は筆脈の  
意識してリズムよく書く。「晚」「秋」は最後  
のはねの方向に気を付ける。「秋」は三  
つの払いの長短・角度に変化を

美化委員会で決まったこ

とを、クラスの人たちに

発表します。

小学二・四年規定【学硬】  
西野江月先生書

雨が近いと言われている

いわし雲が秋の空にう

かんでいます。

名前  
露崎玄峯先生書

小学一・二年規定【学硬】

つ	ス	赤
て	モ	と
い	ス	ん
る	の	ほ
。	花	が
なまえ	支部	年
きゅう	だ	うん
に	白	い
と	と	ま
ま	コ	

\*出品券を貼付して下さい。

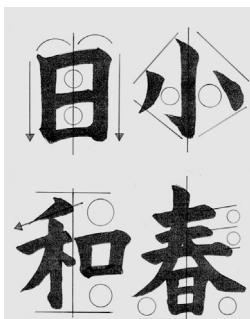
一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生はペン使用のこと(中学生は鉛筆も可)。小学生は鉛筆のこと。作品の大きさ↓たて18cmよこ7cm小三・四・五・六課題↓2.1cm巾のマス目紙を使用する。小三・四・五・六課題↓2.1cm巾の野線を引く。



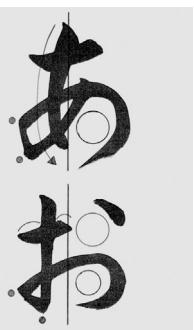
小学二年



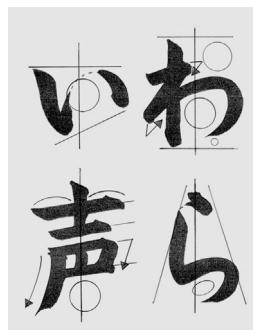
小学四年



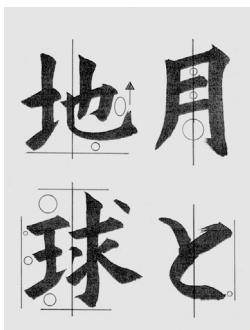
小学六年



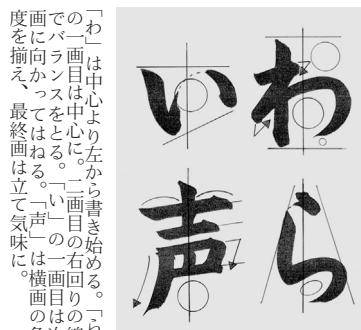
小学一年



小学三年



小学五年



「あ」の一画目は中心線上にくるよう。三画目の大回りの線は、で軽く止める。「お」の中心は、一画目の終筆。大回りの線は横広を意識する。点の位置も注意。

こじゅのふ

枯樹賦

唐六三〇年

褚遂良（五九六～六五八年）

今月のテーマ

表現的臨書(B)

中字(二字～六字)

(B) 形に主観を加える  
表現的臨書

〈ねらい〉 古典の特質を失わない範囲で、出来るだけ形のデフォルメを行い、創作の香りの強い臨書をする。

〈学習①〉 対象古典の中から一字を選び、その特質を生かしたままで、思い切り縦長に強調してみる。次いで思い切り扁平に書いてみる。

〈学習②〉 次のねらいのもとに、対象古典の特質を生かして表現的臨書を試みる。

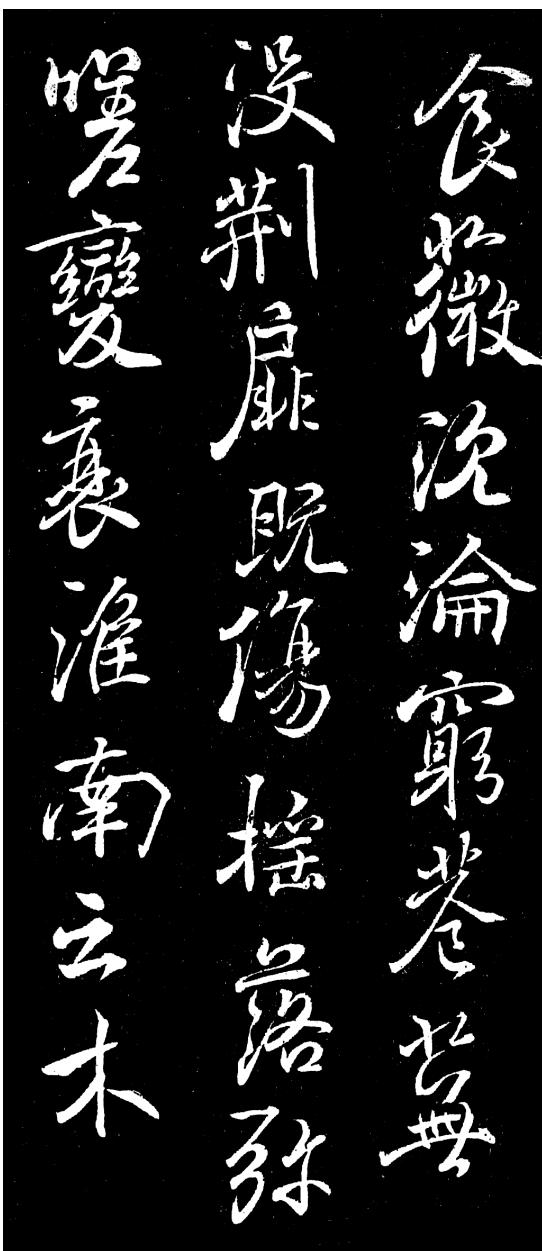
⑦頭部を大きく強調してみる ④下部を大きく強調してみる  
⑧さらに創作に近づけて、対象古典中の二～六字ぐらいを、大小、長短等の全体構成をも考えて、

表現的臨書Aの線表現をも駆使して、作品風の臨書を試みる。

書き方

- ①文字数を間違えないで出品して下さい。
- ②書き文字でなくとも構いません。
- ③落款を入れて下さい。
- ④作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。そして制作意図も書いて下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。

(編集部)



〔訳文〕 食薇。沈淵窮巷。蕪沒荆扉。旣傷搖落。彌嗟變衰。淮南云。木

# 松本市美術館便り

上條信山記念展示室 平成二十八年九月二十七日(火)～平成二十九年一月九日(月祝)

## 「上條信山50～60代の書」

作家がどのような人生を歩み、年代ごとに作風がどう変遷したか等を知ることで、作品の見え方や鑑賞の深さも変わります。上條信山先生の書作を大別すると、30～40歳代は書風の基盤となる古典に徹しつつ師風を追い、50～60歳代はそこからの脱却と、より自分らしい書を模索した年代。70歳代以降は代表作が多数生まれた円熟期と言えましょう。今回は、50～60歳代に制作された作品を特集します。50歳頃から大字作品を発表し始め、60歳頃から篆書作品にも挑戦した年代。線も重厚さを増していく時期にあります。一所に留まらず、新たな表現を追求し続けた作品の数々をご覧下さい。

### 上條信山記念展示室展示作品

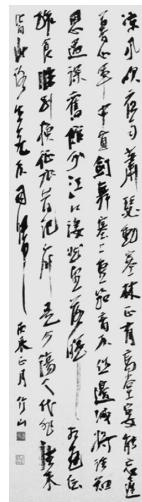
No.	作品名	制作年	年齢	寸法(cm)	主要展覧会
1	心高如山嶽	昭和36年(1961)頃	54歳頃	47.8×69.0	
2	湖心泛月	昭和38年(1963)	56歳	31.3×135.5	現日本書壇大家展
3	守清虛	昭和41年(1966)	59歳	159.0×57.5	第9回新日展
4	天下神器	昭和41年(1966)	59歳	33.5×130.8	
5	題華賦草	昭和43年(1968)	61歳	34.5×137.0	還暦個展
6	求深	昭和44年(1969)	62歳	67.9×105.3	第8回書象展
7	清入骨	昭和45年(1970)	63歳	69.0×234.3	第22回毎日書道展
8	自牧	昭和48年(1973)	66歳	65.8×68.6	毎日現代書展
9	張説詩五律二首	昭和51年(1976)	69歳	82.2×22.3	
10	不愧于天	昭和50年(1975)	68歳	62.0×69.0	日本の書展
11	山光照我	昭和51年(1976)	69歳	215.7×65.2	改組第8回日展
12	県歌「信濃の国」歌碑(拓本)	昭和51年(1976)	69歳	103.1×233.7	
13	若竹像題字(拓本)	昭和38年(1963)	56歳	93.4×59.5	
14	李太白詩「月下獨酌」	昭和32年(1957)	50歳	168.0×67.0	第10回毎日書道展
15	柳宗元詩「登柳州城樓寄漳汀封連四州」一節	昭和37年(1962)	55歳	135.4×34.4	第14回毎日書道展
16	不如守中	昭和39年(1964)	57歳	229.2×52.4	第7回新日展
17	魏徵詩「述懷」	昭和43年(1968)	61歳	134.6×34.3	還暦個展
18	自詠詩「挽屈原」	昭和43年(1968)	61歳	172.5×47.4	還暦個展



「山光照我」



「求深」



「張説詩五律二首」



「天下神器」

# 平成28年度 書象会夏季合宿鍊成会

期日 8月7日（日）～9日（火）、会場 浜名湖ロイヤルホテル

浜名湖ロイヤルホテル

鍊成グループ・指導の先生方（敬称略）

総合指導・市澤静山

半紙入門・露崎玄峯・柳澤玄嶽

書象展・中村魏山

条幅入門・二瓶嶽風

謙慎展A・虎井暁鐘

謙慎展B・樋口玄山・杉山暁雲・山口啓山

日展・内藤望山・高田墨山・杉山暁雲・山口啓山

担当・宮本耕成・横田小泉

風光明媚な浜名湖畔に聳え立つリゾートタイプのホテルで実施しました。客室はツインが中心で、気の合う書友と同宿し、書の研鑽・向上に努めました。食事もバイキングが主で、おいしくいただきました。ただくことができました。各鍊成グループより一名、ご感想を頂きましたので紹介します。

## 半紙入門

暁華支部 松島晴菜

小学生から書道を始め、今年大学に入学しました。これまでの書写力を鍛える書道に加えて、筆を運ぶスピードの変化による独特な線質や濃淡のじみ、印象に残る力強さなど表現力を磨く勉強



露鋒と藏鋒について……

指導して頂きました。特に添削して頂いた箇所をメモしながら同じ文字を何度も練習しました。反復練習することで感覚を掴むだけでなく自分の癖や弱点を見つけることが出来るので、基礎固めとして最適な練習だったと思います。その成果もあり、沢山の先生から「線質が良い」とお褒めの言葉を頂き、嬉しさと達成感を強く感じました。合宿の経験を生かし、表現力豊かで人の心に残るような書道を目指して精進していきたいと思います。ご



作品の効果的な作り方とは……

の中での自分

研ぎとして、書を楽しんできましたが、これからは正師範を目指して精進してまいります。今回の合宿は大きな刺激と感動の三日間でした。諸先生方の御指導、誠に有り難うございました。

書象展 暁華支部 栗田喜久男

指導頂いた先生方、本当に有り難うございました。

## 条幅入門

有象会支部 武田基秀

合宿に参加するは三回目です。何よりの楽し  
みで、万障繰り合わせて参加しています。今回は、  
二瓶先生のご指導のもと、条幅入門に挑戦しま  
した。条幅は全く書いたことがなかったので、先生  
も初めは心配されていた様子でしたが、優しくて  
心に入りやすいお話振りのご指導や周りの皆さん  
の練習の様子を見たりしながら、お陰様でどうに  
か形になってきました。信山流の魅力は線の勢い  
だと思います。もっと勉強してみたいと思うよう  
になりました。



細部にわたる添削指導が一人一人に

時折、他の先生方がお見えになり色々とご指導  
ください好感が持てました。更に、信山流の貴重  
な拓本を目にすることができ勉強になりました。  
合宿ならでは

の醍醐味です

最後に、同  
室の方は先生  
も滅多にお教  
えにならない  
先生ご自身が  
習得されたコ  
ツを教えても  
らったと喜ん  
でいました。

先生、今度私にも教えて下さい。

素敵で明るい浜松での合宿、来年が楽しみです。  
先生方、係担当の方、参加された皆様に感謝申し  
上げます。

## 謙慎展 A

長野支部 手塚恵心

本部の先生方にお会いできることや、どの先生  
が担当なさるのかが楽しみで毎年参加させていた  
だいておりま  
す。また、参  
加されている  
方々に一年振  
りにお会いで  
きののも楽し  
みの一つです



来年の謙慎展は大いに期待できそうですね

今年参加し  
た部門は四名  
で、虎井暁鐘  
先生の細やか  
なご指導を受けることができました。先生の視線  
を感じながら適度な緊張の中で勉強できたことは  
貴重な体験でした。見ていてくださることで、気  
がついたところをすぐ教えていただけたという特  
別な環境と安心感がありました。先生は参加者の  
様々な疑問・質問にその都度丁寧に答えてくださ  
り、作品作りの参考となりました。更に、筆や墨  
などの用具選びも併せて学ばせていただきました。

など用具選びも併せて学ばせていただきました。  
さあ、鍊成開始！心が引き締まります

## 謙慎展 B

若竹会支部 松村恭月

今年の合宿は、浜松市「浜名湖ロイヤルホテル」  
で行われました。リゾートホテルの眺めの良い大  
きな鍊成会場での開会式。先生方がずらりと並ば  
れると、その迫力に身の引き締まる思いでした。  
謙慎展Bの会場では、日比野汀華先生の制作過程  
を拝見し、創作というものを見て感無量でした。  
また、日比野先生の筆で試し書きをさせていただ  
き、紙に吸い付く様な今までにない感覚を体験し  
ました。更に、



作品鑑賞会では、各部門の方々の素晴らしい作  
品を目の当たりして「日々の研鑽」を怠ってはな  
らないということを改めて感じました。ご指導頂  
きました先生方、スタッフの皆様に感謝申し上げ  
ます。有り難うございました。

で癒やされ、二日目の宴会ではbingo大会で盛り上がり、全国から集まった方々と接する事ができる合宿は私にとって財産です。学んだ数々の事を今後の作品制作と生徒指導に繋げてゆきたいです。

## 日 展

大象会支部 佐藤京香

二年振り二回目となつた日展部門への参加です。明るく広々とした会場では、開会式後すぐに総合添削があり、あつという間に緊張感が広がりました。二つの題



来月の日展最終選考に向けて緊張感が漂う



宿泊・鍊成したホテル



開会式、市澤理事長挨拶



鍊成の疲れも解消?



たくさんの料理、次々とお皿へ

夏季合宿スナップ

今回は、初日がリオオリンピック一日目となりました。休憩時間に日本選手のメダル獲得やイチロー選手の三千本安打達成の速報が伝えられ、会場の意気込みは更に高まります。周囲の高揚感の中で仕上げられた作品は集中して書け、今後に繋げられる予感の持てるものでした。ご指導下さいました先生方、細部への心配りをして下さったスタッフの先生方に深く感謝を申し上げます。

夏季合宿を終えて

合宿担当 宮本 耕成



bingoゲーム、揃わないなあ~



ホテルから弁天島方面を望む

鍊成会場の窓から見下ろすと、浜名湖が広がる風光明媚な環境の中での夏合宿でした。参加された皆様一人一人がこの合宿の意義をよく理解され、『何かを習得しよう』という高い意識で鍊成に励まれている様子が感じられました。

そして、指導にあたられた先生方が懇切丁寧にアドバイスをされ、張り詰めた空気と熱気が伝わってきました。参加された皆様は『多くのお土産(収穫)』をお持ち帰りいただけたのではないかと思います。

係としては今回の合宿の反省会を行い、来年度に向けてよりよい合宿・研修会を検討してまいりたいと思っております。ご意見、ご要望がございましたら是非、お寄せいただきまますようお願ひいたします。

会場に目を移せば先生方、先輩方の書かれる姿を間近で拝見できます。執筆法、運筆法、リズムや息遣いまで感じ取り、学べることが合宿の神髄と再認識できました。

# 第五十七回全日本書写書道教育研究会全国大会(埼玉大会)報告

## 大会主題 「書字文化を育む書写書道教育」

会期 平成二十八年八月二十六日  
会場 文教大学（埼玉県越谷市南萩島）

本年度の大会は場所を文教大学とし、本会荻田哲男（光山）先生が上條信山先生以来となる大会事務局運営委員長の大任を引き受けられて行われた。全国大会開催に当たり理事長の長野秀章先生（東京学芸大学名誉教授）がご挨拶され、今大会の運営委員長荻田先生からは「文字を書くことの大切さ、学ぶことの意味」についてのお話があった。来賓祝辞は大会講師である文科省初等中等教育局の加藤泰弘先生（教育課教科調査官）が務められた。

研究協議会では、始めに小学校部会報告として「小学校低学年毛筆（軟筆）導入研究授業報告」、次に中学校部会報告として「中学校国語科書写の学習指導における生徒・指導者の意識及び実態調査報告」があつた。



荻田光山先生（大会事務局運営委員長）の挨拶



熱心に聞く参加者

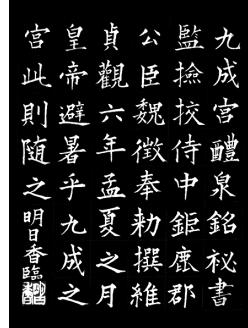
長崎県の佐世保市立佐世保小学校の「水書きの可能性」の報告は、「硬筆→水書ペン→硬筆」という進め方で児童が興味関心を持ち、筆圧や鉛筆の持ち方が向上し、楽しく学ぶ中で意欲が増したというものであった。さいたま市立三室小学校でも「毛筆（軟筆）指導・導入」をテーマに水書ペンを使用して新出漢字やひらがなの練習後に硬筆作品を書く授業の成果が報告された。中学校部会の「中学校国語科の学習指導における生徒・指導者の意識及び実態調査」の報告では、今後の課題と提言が示された。

シンポジウムは、「これから書写書道教育の学習指導要領改訂をにらんで」と題し、山梨大学大学院教授の宮澤正明先生（国語ワーキング）と長野秀章先生（芸術ワーキング）から改訂作業進行中の学習指導要領の方向性についてのお話を聞くことが出来た。現場の実践と研究、一連の発表を取りまとめるシンポジウムと内容の濃い一日であつた。

（露崎玄峯記）



齐藤 実里 (八潮)



多田明日香(聖徳大附女高)

# 第48回 全国学生書道展

優秀作品の発表



松山 惟香 (守山北高)



望月みなみ(丸子修学館高)

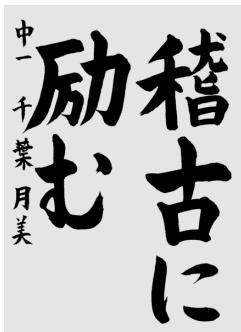


飯島 知代(聖徳大附女高)



小島 基史 (華雪)

日本書道芸術協会大賞



千葉 月美 (光ヶ丘)



土屋 璃乃 (若竹)



平田 早穂(聖徳大附女中)



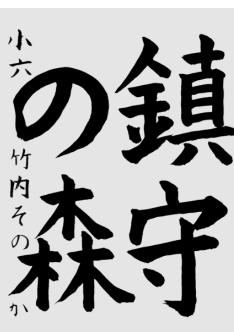
安原 莉夏(聖徳大附女高)



酒井ひろみ (芙蓉会二)



吉井 理紗 (和)

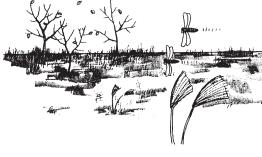


竹内そのか (たけのこ)



戸田 陽菜 (静翠)

日本書道芸術協会準大賞

<p>七海 墓誌 氏人董</p>	<p>高二 長信使 麻恃己</p>	<p>高三 土筆 高二 井原咲依 長世分 刃慶流</p>	<p>大司農 給米祠 天地玄黃宇宙洪荒日月盈昃辰宿列張寒暑往歲律呂收露結爲霜金生麗水玉成崑崙御騎志鐵</p>							
<p>鳩山七海 (守山北高)</p>	<p>加藤穂乃香 (玄樸会)</p>	<p>井原咲依 (土筆)</p>	<p>石渡 淩 (聖徳大附女高)</p>							
<p>中三 山の朝 中村聖奈</p>	<p>中三 理想の 実現の 渡邊 琳</p>	<p>中三 な美 有泉咲希</p>	<p>青丘 越 留奈</p>							
<p>中三 物語 太古の 夏妃</p>	<p>中二 知温新故 井澤志保</p>	<p>中二 神秘 山下侑華</p>	<p>中二 榮光の 架橋 若山駿仁</p>							
<p>中三 日本の 文化 樋口佳南</p>	<p>中二 日本 文化 古賀大雅</p>	<p>中二 日本 文化 古賀大雅</p>	<p>中二 日本 文化 古賀大雅</p>							
<p>中二 岩佐夏妃 (凜心)</p>	<p>中二 山下侑華 (聖徳大附女中)</p>	<p>中二 山下侑華 (華雪)</p>	<p>中二 若山駿仁 (華雪)</p>	<p>小五 の世界 清水栄花 (光ヶ丘)</p>	<p>練馬 の夏 山畑愛菜 (練馬)</p>	<p>龍文 坂道の 河合野乃 (龍文)</p>	<p>小六 字南十 小林琉月 (竹華)</p>	<p>中一 草原 大角地麻璃香 (上尾)</p>	<p>中一 追う 長谷川舞香 (上尾)</p>	<p>中一 涼風を 長谷川舞香 (上尾)</p>
	<p>小三 りこお 宮川友花 (平成)</p>	<p>小三 ふしき 牧野莉子 (凜心)</p>	<p>四半 る流れ 菊地あられ (富貴会)</p>	<p>小五 守 藤本ひなの (汀楓)</p>	<p>小五 信号れ 藤本ひなの (汀楓)</p>	<p>小五 ひな</p>	<p>ひな</p>			

全日本書道連盟奨励賞



# 第48回全国学生書道展特集

## 受賞者の喜びの声

第48回全国学生書道展を終えて

学生展担当 江上玄光

す。これを励みにこれからも精進していきます。ありがとうございました。

張りました。大きな賞を頂けて、大変嬉しかったです。ありがとうございました。

をきっかけに、剣道と書道をより一層頑張りたいと思います。

日本書道芸術協会大賞

臨書学習の成果  
聖徳大学附属女子高

高一 安原 莉夏

感激 静翠支部

小六 戸田 陽菜

今年も各支部長先生方の懇切丁寧なご指導とご協力により、全国から熱意溢れる力作が集まりました。厚く御礼申し上げます。

厳しい審査の中、応募作品の一点一点から、学生展にかける子供達の意気込みや、日頃の真剣な学習の積み重ねを感じられました。

皆さんの努力が実を結び、今後さらに発展していくことを祈念しております。

また、今回の優秀作品は、来年六月に国立新美術館で開催予定の書象展会場において、本年同様の展示をいたします。ご期待下さい。

信山先生記念賞

歐陽詢に惹かれて

聖徳大学附属女子高  
高二 多田明日香

驚!!

丸子修學館  
高二 望月みなみ

この度は大賞という名譽な賞をいただきとても嬉しく思います。毎日の書の練習に積み重ねの成果を実感いたしました。これを励んでこれからも努力し書の学習を継続し学んでいきたいと思います。

積み重ねの成果  
聖徳大学附属女子高  
高三 飯島 知代

大賞をいただいて  
聖徳大学附属女子中  
中三 平田 早穂

この度は日本書道芸術協会大賞をいたしました。平仮名と漢字のバランスも嬉しく思います。毎日の書の練習に積み重ねの成果を実感いたしました。これを励んでこれからも努力し書の学習を継続し学んでいきたいと思います。

大賞をいただいて  
聖徳大学附属女子中  
中一 土屋 瑞乃


この度は日本書道芸術協会大賞を聞いたときは驚きました。ご指導してくださった先生に感謝しています。これから、もっと努力して良い賞をとれるように頑張ります。


先生から大賞受賞を聞いたときは驚きました。ご指導してくださった先生に感謝しています。これから、もっと努力して良い賞をとれるように頑張ります。

がんばってよかったです  
たけのこ  
小六 竹内そのか


今回、こんないい賞を頂いてとても嬉しいです。保育園の頃から約九年間続けてきました。これからも続けてもっといい字を書けるようになりました。


今回、大賞を受賞できたことを光栄に思いました。五年生から部活動で休みがちになりましたが、ここまでこれたのは先生のおかげです。ありがとうございました。

感謝 ヤッター  
小六 吉井 理紗


二学期が始まってすぐに、私あって電報がとどきました。なんだろうと思って、開けてみると、書道で何か受賞したことが書いてありました。めっちゃうれしい。

記念賞を受賞して

八潮  
中三 齋藤 実里

感謝

守山北高等学校  
高一 松山 惠香

稽古に励む

光ヶ丘  
中一 千葉 月美

ヤッター

芙蓉会二  
小四 酒井 裕美

この度はこの様な素晴らしい賞を頂くことができ、大変嬉しい気持ちでいっぱいです

初心者で書道部に入りました。一年生で書を書いていて、二年生から隸書を頑張っています。この賞

がとても嬉しいです。この賞



二学期が始まつてすぐに、私あって電報がとどきました。なんだろうと思って、開けてみると、書道で何か受賞したことが書いてありました。めっちゃうれしい。

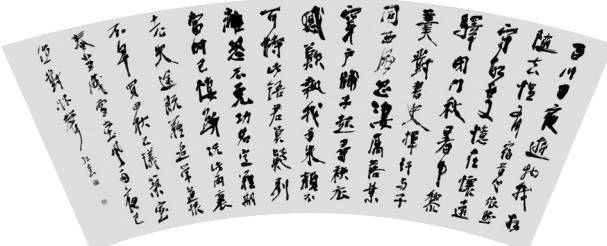
# 武田紅春さんの 卒寿記念作品集 『無量寿』の刊行を祝う

会長 田中 節山

審査会員の武田紅春さんが、めでたく卒寿を迎えるました。現役として活躍中です。

昭和三十九年ごろ、吉祥寺の産経学園の信山教室での勉強を経て、信山先生のご自宅に通われて土曜会での教えを受けられて来ました。

このたび、その折に出品し続けた作品群の中から一二点を、愛娘である黒河真理子さんの応援のもと、見事な作品集



180×70cm 刘基詩

『無量寿』が刊行されました。  
まことにお目出度うございます。素晴らしい学習の成果です。中でも、ここに掲げるような謙慎展や読売展に出品された大型作品は、力強い作品ばかりで圧倒されます。篆・隸・楷・行・草書、調和体、仮名なども信山先生の技法をよく修得されています。

主な出品展は、書象展、書象選抜展、書象女流十二人展、土曜会展、日本女流書展、日本の書展、読売展、毎日展、謙慎書道展など数えきれません。

更に出品をし続けたいと話されていています。さらなる御長寿とよい作品を期待しています。



会場風景



池上先生と出品者一同

## 第28回さざ波会書展

会期 八月二十三日(火)  
～二十八日(日)  
会場 こみなと稲毛ギャラリー  
主宰 池上湖心先生

暦の上では秋の訪れとなつたものの、残暑厳しい八月の下旬に第二十八回さざなみ会書展を『こみなと稲毛ギャラリー』にて開催いたしました。

今回の書展は、古典の臨書を含め、楷書、行書、篆書、仮名などに加え、出品者全員によるそれぞれ寸松庵の大きさの「いろは」を掛け軸に表装して会場に華を添え、来場された方々の注目を集めました。また、小中学生による力強く伸びやかな作品は、見る者を元気づけてくれました。会場には、書象会、土曜会の先生方や書道関係者の皆様をはじめ、会場前の方々を見て訪れてくださった方々などおよそ三百名近い方々にご来場いただき、作品の一つ一つに熱い視線を向けていただきました。

作品をご覧いただいた方々の激励を胸に、今後もより一層練習に励み、次回の開催を目指して行きたいと思います。

(井上葉楓記)

# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

## 毛筆につづいて



志摩支部 中三

## 念願の特待生



珠悠支部 中三

## 特待生になつて



桜木支部 中三

毛筆につづいて、硬筆も特待生になることができ、とてもうれしく思います。また、今回はいとこと一緒に昇格することができ、書道の楽しさがよく分かってきました。これからも上を目指してがんばります。

**支部長先生より一言** 聰香さん、二度目の合格おめでとう。この努力はこれから生き方にきっと生かされてくる事でしょう。

## 感謝



有象支部 中三

目標としていた特待生に、毛筆に続き硬筆もなることができとても嬉しいです。これは全ていつも優しく丁寧に指導して下さった先生のおかげです。ありがとうございました。これからも更に頑張っていきたいと思います。

**支部長先生より一言** 二冠達成おめでとう。よくやった! 自宅で書くことも多かったですが、この努力嬉しいです。

## ゼロからのスタート



柏心支部 中三



百合田 清仁  
有象支部 中三

今回、念願の特待生になれすごく嬉しいです。ここまでこれたのは、先生や家族の支えがあったからだと思います。ほんとうに感謝でいっぱいです。これからも日々努力をして頑張つていいと思います。支部長先生より一言 進路や特待生試験を目前にし、物事に一層真剣に取り組むようになってきました。これからも持ち前のガッツで頑張つて下さい。

## 続けてきた書道



有象支部 中三

目標としていた特待生に、毛筆に続き硬筆もなることができとても嬉しいです。これは全ていつも優しく丁寧に指導して下さった先生のおかげです。ありがとうございました。これからも更に頑張っていきたいと思います。

**支部長先生より一言** 二冠達成おめでとう。この一朝一夕に出来ない努力が実を結んだこと、本当に良かったです。

## 憧れ



さざなみ支部 中二



須坂支部 中二

今回特待生になりました。本当に感謝です!! 支部長先生より一言 オメでとう。本当によく頑張りました。何事も「なせば成る」だね。今後更に上を目指して続けましょう。

## 変わったこと



竹華支部 中三



黒澤 櫻  
竹華支部 中三

ずっと憧れだった特待生になることができてとても嬉しいです。いつも熱心に指導して下さった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。これからも目標を持って上達していきたいです。

**支部長先生より一言** 特待生おめでとう! 部活と塾と大変ですがよく頑張っています。妹と弟のお姉さん更名为に励みましょう。

小三から習い始めた書道。左利きの私にとって、手で字を書くという事はゼロからのスタートでしたが、先生の熱心な御指導と応援してくれた家族のおかげで、今回特待生になりました。本当に感謝です!! 支部長先生より一言 オメでとう。本当によく頑張りました。何事も「なせば成る」だね。今後更に上を目指して続けましょう。

私は小学校一年生から習字を習い始めて、やっとのことで、特待生になれ、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。今まで支えて下さった親や先生に感謝しています。これからも日々努力をして頑張つていいと思います。支部長先生より一言 特待生試験に合格、おめでとう。継続は力なり、今後の活躍を願っています。

## 特待生への道のり



須坂支部 中二

特待生の道のりは順風満帆ではありませんでした。しかし、諦めずに続ける事ができたのも、先生や家族の励ましたからです。本当にありがとうございます。次は二冠達成に向けて、更に努力していきたいです。

**支部長先生より一言** 毛筆合格おめでとう! ほんとどうです。頑張ろうネ!

小三から習い始めた書道。左利きの私にとって、手で字を書くという事はゼロからのスタートでしたが、先生の熱心な御指導と応援してくれた家族のおかげで、今回特待生になりました。本当に感謝です!! 支部長先生より一言 オメでとう。本当によく頑張りました。何事も「なせば成る」だね。今後更に上を目指して続けましょう。

すっと憧れだった特待生になることができてとても嬉しいです。いつも熱心に指導して下さった先生には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。これからも目標を持って上達していきたいです。

**支部長先生より一言** 特待生おめでとう! 部活と塾と大変ですがよく頑張っています。妹と弟のお姉さん更名为に励みましょう。

合格の知らせを聞いた時、嬉しさと共に驚きました。自分の字に自信がなかったからです。これを機に少しずつ自信を持てるようになりました。これも教えて下さった先生のお陰です。ありがとうございます。

**支部長先生より一言** 書に取り組む姿勢は教室の模範でありました。晴れて初挑戦で合格、高校生活も頑張つて下さい。

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

うれしい!



若竹支部 中三

特待生



高社支部 中二

特待生になつて



小松莉子 中三

私は中二のときに一度おちてしまつて、くやしい思いをしました。字を書くのもいやになつてしまつたが、先生のご指導により今回合格することが出来ました。すごくうれしかつたです。支部長先生より一言つらいこと、かなしいことを乗りこえて合格したことはきっと将来、良い経験として役に立ちますよ。

感謝



小山田未怜 中三

努力



練馬支部 中三

やつととれた特待生



名東支部 中三

私は小学一年生から習字を始めて、今年特待生になりました。長く続けてきてこうして一つの目標を達成することができとても嬉しいです。これらも毛筆でも特待生になれるよう努力していきたいです。支部長先生より一言勉強に部活にその他の習い事に、忙しい中これまで良く頑張りました。二冠達成を応援しています。

私は小学校三年生の時から書道を始め、特待生になりました。部活との両立が大変だったけれど、ここまでやってくれたのは先生方のおかげです。ありがとうございました。支部長先生より一言テニス部の部長もやっていて、大変なようです。遅くまで書いていた姿は、立派です。おめでとう。

達成



久喜支部 中二

日々の精進



志摩支部 中二

悲願



月支部 中二

積み重ねた努力や熱意のこもった先生のご指導がようやく実り、「特待生」に昇格できたことを嬉しく感じます。今後もより一層毛筆、硬筆とともに日々精進を重ねていきたいと思います。

支部長先生より一言寧々さん、硬筆合格おめでとう。忙しい中学生活、趣味の踊りのお稽古もある中でよく頑張りました。

小三から、姉を追つて書道を習い続け、目標の特待生になることができ、とても嬉しいです。御指導してくださった先生に、感謝でいっぱいです。今後も更なる上達を目指して頑張りますのでよろしくお願ひします。支部長先生より一言おめでとう／学業又部活で忙しい中、努力が実を結びました。こと葉さんの今後の躍に期待します。

私は小学三年生から書道を習い始めました。努力を積み重ね、やっと特待生になることができました。それも、今まで一緒にお稽古してきた友達や先生のおかげだと思います。これからもよろしくお願いします。支部長先生より一言支部初の特待生おめでとう。休むことなく努力する姿は、後に続く後輩達の良い手本であり目標です。

日々の精進



西村寧々

悲願



神崎沙和

# 少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

霞ヶ浦支部 小六 塩野哲也



教室内で、いつもいろいろと手伝ってくれるやさしい生徒です。考え方もしっかりしててすばらしいですよ。細かい作業もこなすマルチな所すごいです。

虹苑支部 小五 駒屋雄大



素直で話をよく聞き筆使いも丁寧で集中力が抜群です。市の書展に学校代表で小一から連続選抜。教室のお手本です。送り迎えのお母さんに感謝します。

高社支部 中二 駒津大翔



小学生の頃からサッカーチームに所属し現在は部活のキャプテン、地域の選抜選手でもあります。学業の成績も良く、書道では特待生を目指します。

若竹支部 小六 青木康太



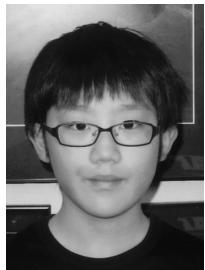
春風の様な香花ちゃんですが、書く字は強くてましく期待の星です。沢山のお稽古も見事にこなし学校の成績も優秀。脱帽です。

小四 薄井香花



茉央さんは一年生の二月に入会し、当時から物事にイエス・ノーとはつきり言える芯を持っています。書にとり組む姿勢と腕前に優れ、将来を期待しています。

小五 内野有彩



康太君は今年で五年目。下級生の面倒見が良い人気者です。この頃は自信がついて作品も太く堂々としています。勉強態度も落ち着いて立派です。

小六 晴野真彩



小一からお習字を始めました。いつも大好きなサッカーや将来の夢など楽しそうに話してくれます。その笑顔と持ち前の集中力で、これからも頑張って！

中二 奥原亞美



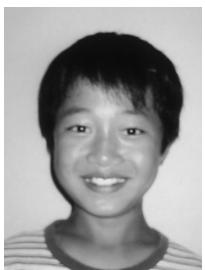
左利きですが、一年生から右手でお稽古を始め、努力して鋭い始まりました。手芸や料理を得意が好きで、パティシエを夢みる明るいお嬢さんです。

小六 蔵支部



おとなしく物静かな亞美さん、黙々と一生懸命書いてます。書道を習い始めたのが遅かったのですが、めきめき上達し力強くきれいな字が書けてます。

大泉支部 小六 重原彩奈



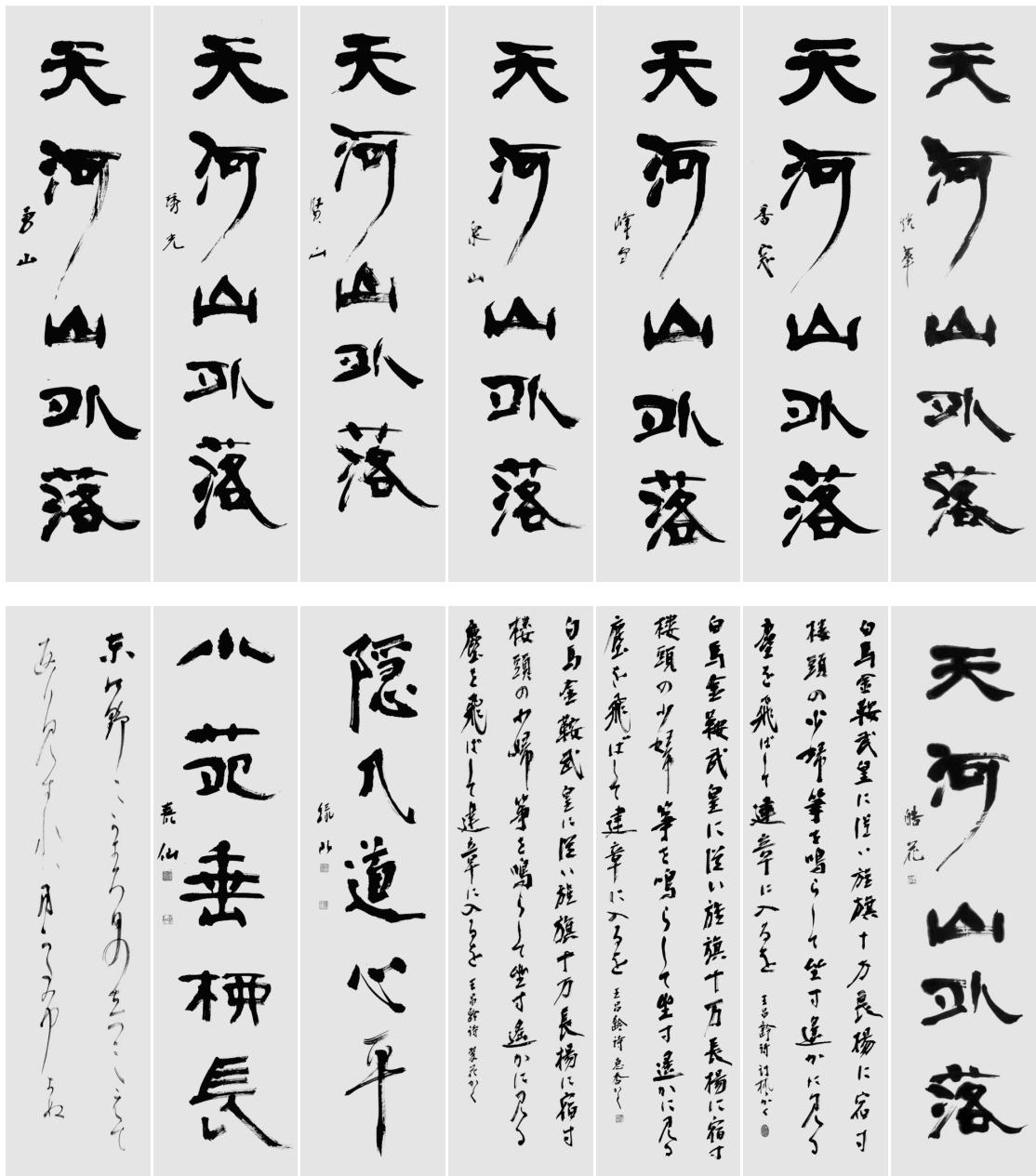
翔弥君は、そろばんが得意で体育が大好きな野球少年。文字を書くことも大好きで、しっかりとした文字を書きます。特待生になれるといいね。

美那支部 小小五六鳥海日琴莉乃



やさしさとしつかりしたところが二人姉妹のお姉さん。一年生からはじめに取り組んでいます。かわいい笑顔でますます頑張りましょう。

今月の秀優作品



△隸書条幅▽ 評 高瀬 霞山

評 高瀬 霞山

統 華 切れ味鋭く軽妙なりズム

で中心線一貫。

香 窓 暢びやかな線質で、安定

した字形。

峰 雪 豊潤な墨色で線質強くま

とまっている。

泉 山 求心力のある形で全体が

すつきりした。

勇 山 自在な筆遣いで緊張感の

ある作品。

賢 山 大胆な運筆で手本に忠実

に書いてある。

皓 花 重厚な線と「河」の終画

の線が見事。

汾 楓 豊かな墨量でも軽快さを

失なわない。

惠 香 墨の滲みが印象的で落ち

つきのある作品。

翠 花 重厚な線と「河」の終画

の線が見事。

△仮名条幅隨意▽ 評 田中 珠光

汾 楓 豊かな墨量でも軽快さを

失なない。

惠 香 左右の余白、行間の明る

さ全体感佳。

翠 花 潤渴の変化が美しく、流

れに冴えあり。

△通信条幅▽ 評 柳澤 玄嶽

青柳緑水 墨量豊かで線に冴えあり

大佳。

三沢泰仙 線、形とも安定感を持ち、

鍊度深い作。

井上雅幸 文字巾の変化が自然で、美しい流れあり。

基本課題

評 竹内 墨洋



研究課題 評 荻田 光山  
花 淳 潤 賴永  
翠 瑶 静 霞  
山 伸びやかで若々しさ清冽さ溢れる作品。



志 一字一字の特徴と空間の捉え方が抜群。  
花 線の伸びやかさと含墨で碑の魅力を写す。  
翠 一筆一筆丁寧で正確に表現されている。  
山 線の呼吸の長さ、重厚さが際立つ秀作。



静 貞 想 静  
霞 泉 習 霞  
松 大きさにおさえが利き余白が明るい。  
山 墨量豊かな中に明るさリズムを感じる作。



天 霞 静  
遥 泉 習  
月 大きさにおさえが利き余白が明るい。  
宿屋笙仙 線画が伸びやかに引かれ、爽やかな作。

古典研究  
師範部

△楷書▽

評 芦川 臨泉

佐藤梗紗 おだやかな線で明るくまとめている。  
小西琴月 線画から収筆まで緩みなく書いている。

駒屋笙仙 線画が伸びやかに引かれ、爽やかな作。

横川景城 勢いのある線でスピード感あり。

高平光紗 線に勢いと伸びがあり、軽快に書けた。

中田秀麗 呼吸の長い作品で、線、形にゆとりあり。

関澤剣山 運筆に伸びやかさがあり、躍动感がある。

加藤穆舟 楷書の筆法がしっかりと手に入っている。

下平成苑 腕法が大きく、字形に求心力もあり。

岡田鳳吟 結体に緊張感があり、全体構成も見事。

島村霞菖 背勢の美で、結体が引き締められた秀作。

堀 都 緩急をつけた線質で、字の大きさも佳。

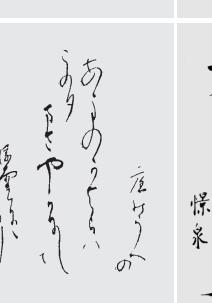
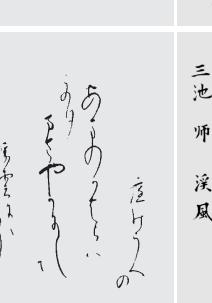
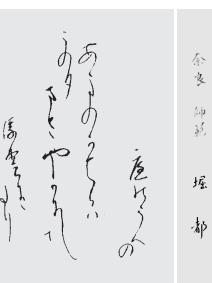
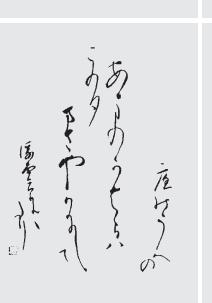
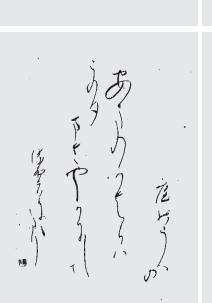
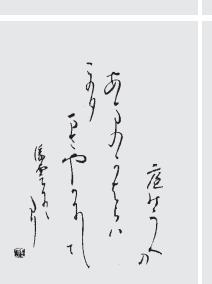
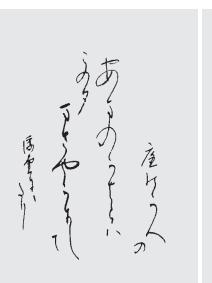
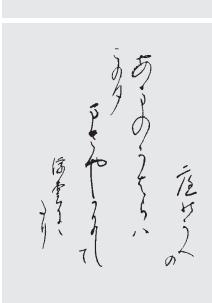
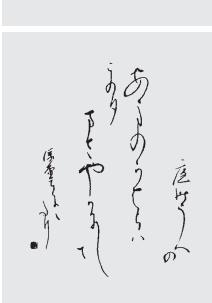
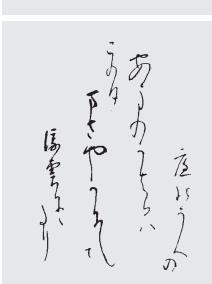
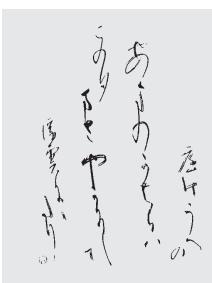
大島翠遙 清みきった線質で、全体感も大佳。

虎本溪風 豊潤な線で、切れ味のある作品となつた。

山崎慷慨 伸びやかでサラリと書けた明るい作。

星判伯 伸びやかに書かれた印象的な作。

星判文 全体のまとまりがよく、落ち着いた佳作。



玄 穂 半紙練習の成果が力味なく感じられる作。

悠 翠 全体のまとまりがよく、落ち着いた佳作。

琴 秀 水連綿の中の一字一字がしっかりと手に入っている。

寶 春 線質もふくよか。

小 瑛 穏先の力がどの線にも感じられる秀作。

美 光 無理のない筆運びと墨色の変化が効いた。

谿 祥 やや小ぶりに見えるが、肉太の表現よし。

壺 玉 行による強弱がうまく表現された佳作。

美 恵 子 大胆で力強い筆致で、大変印象的。

△仮 名▽ 評 荻田 光山

学生部

評 成瀬 恵苑

佐生琉音 行書のやわらかな表現が見事です。

栗野 慧 太い線で、力強く伸びやかに表現できた。

永演和歩 起筆がしっかりとおり、線が美しい。

廣谷真結子 むずかしい横画を明るく長く書けた作。

太古の太古の実力を実力を

物語

物語

栗野慧

表す

中一 段永演和歩

表す

中一 廣谷真結子

軽快

軽快

水田

水田

水田

小五 浜田奈弥

水田

水田

水田

水田

水田

水田

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

虫か

虫か

月が

虫か

虫か

月が

月が

月が

月が

月が

月が

月が

月が

月が

虫か

虫か

月が

月が

月が

月が

月が

月が

月が

月が

月が

散歩

台所

形

千

中二 北川深雅

小六 鈴木紗英

小四 中嶋彩子

三年 なかにしそう

半紙隨意

評 長谷川石心

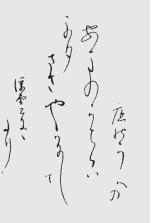
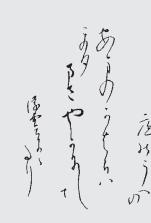
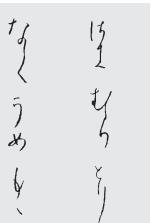
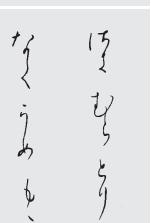
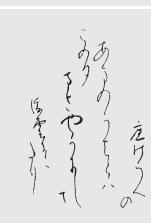
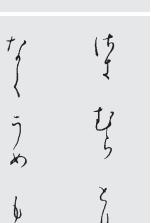
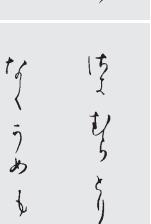
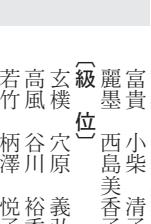
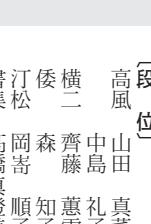
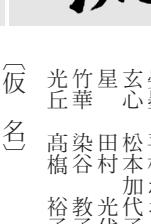
北川深雅 なめらかな運筆は鍛成の成果。

鈴木紗英 起筆、終筆の正確さがきわだつ。

中嶋彩子 大きな手の動きが良い。名前もうまい。

中西奏太 堂々としている。力強さはナンバーワン。

このページに掲載された人には書象会より記念の筆をさし上げます。

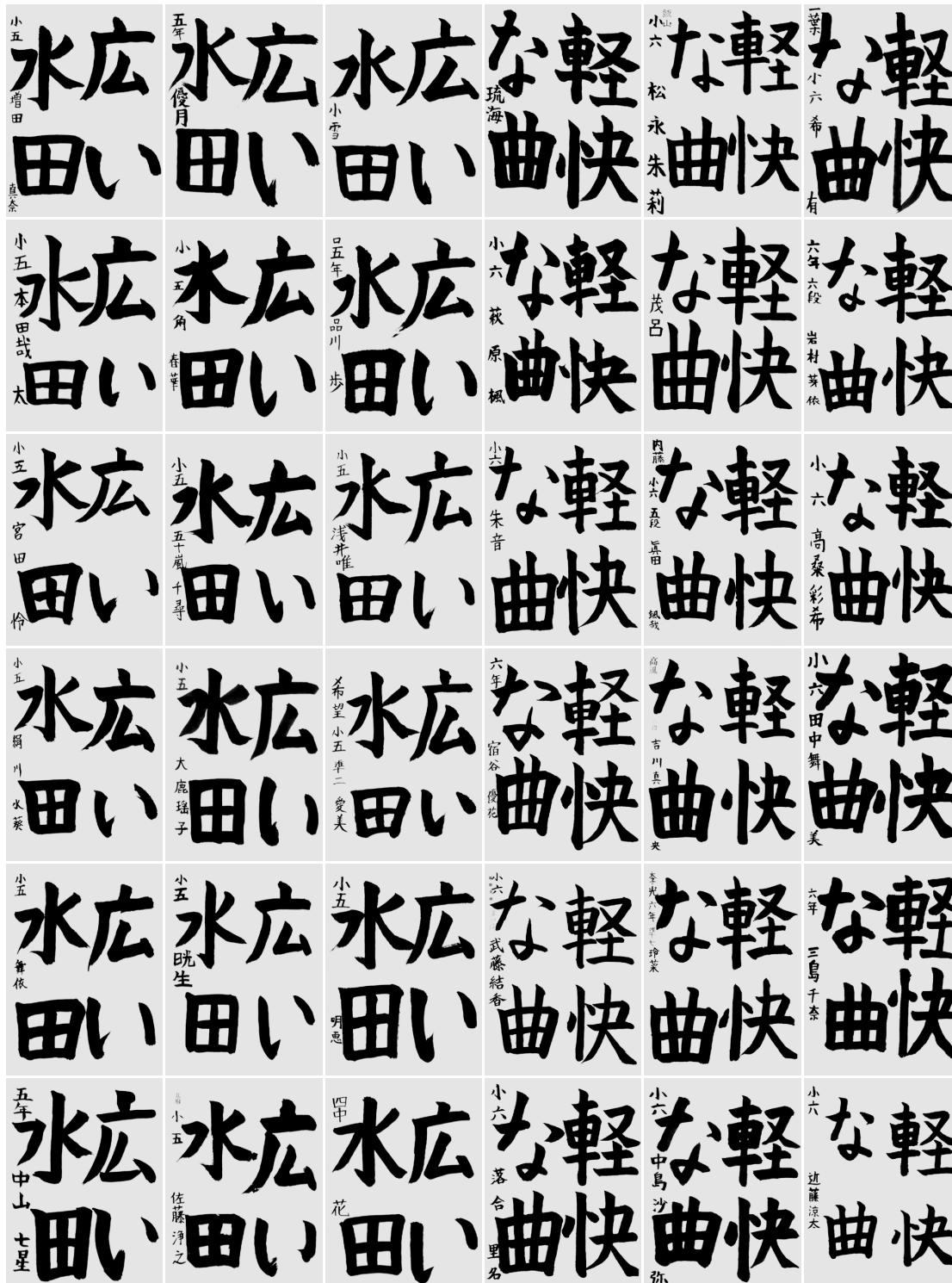
			<b>慶流</b> 練馬 三級 見玉利恵	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 純香	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 庵瀬譽山	<b>星判伯</b> 星判伯 五段 薄
			<b>慶流</b> 晏 墓 四級 平林かおり	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 楠爪里和	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 大橋明美	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 花達
			<b>慶流</b> 玄心 五級 加代子	<b>慶流</b> 京都一般 特二級 中野忠	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 美代子	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 菊板
			<b>慶流</b> 田村光代	<b>慶流</b> 華雪 斉木祐菜	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 宮佐	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 文化
			<b>慶流</b> 竹革 七級 梁谷教子	<b>慶流</b> 若竹 一級 柄澤悦子	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 岩美	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 倭
			<b>慶流</b> 光丘 高橋裕子	<b>慶流</b> 椿森 二級 湯田坂新吉	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 瑞雪	<b>星判伯</b> 星判伯 八戸 初段 皓花
						

筆者名	級位	書名	級位	筆者名	級位	書名	級位	筆者名	級位	書名	級位
笠原高竹	級	高麗富貴書集	横	汀嶽墨	横	京星	高麗書	京華	横	八戸大静	花蓮
玄機	位	松樹	二	書	二	晏心	馬竹	華	横	高風	象
塩柄谷川原	級	中島齊藤	高	墨書	高	墨墨	森竹	華	静高	美虹	須坂文化
原澤川原	位	中山島	風	集	風	心墨	森	都	大	皓花	蓮有
朝悦七子香弘	級	西島真澄	段	書	段	墨雪	竹	位	二	友	坂武原
	位	清美子	假		假	雪都	金	阪	戸	花	かおる
		知蕙子	名			都	松		二	大滝	大森
		禮子				中野	鈴		八	瀬井	久保
		真菜子				平林	大			西村	弘美
		順子				加子	滝				子
		香子				ゆき	木				溥
		義弘				加代子	兼				
						悦子	橋				
						祐子	坂				
						恵子	新吾				
						子	子				

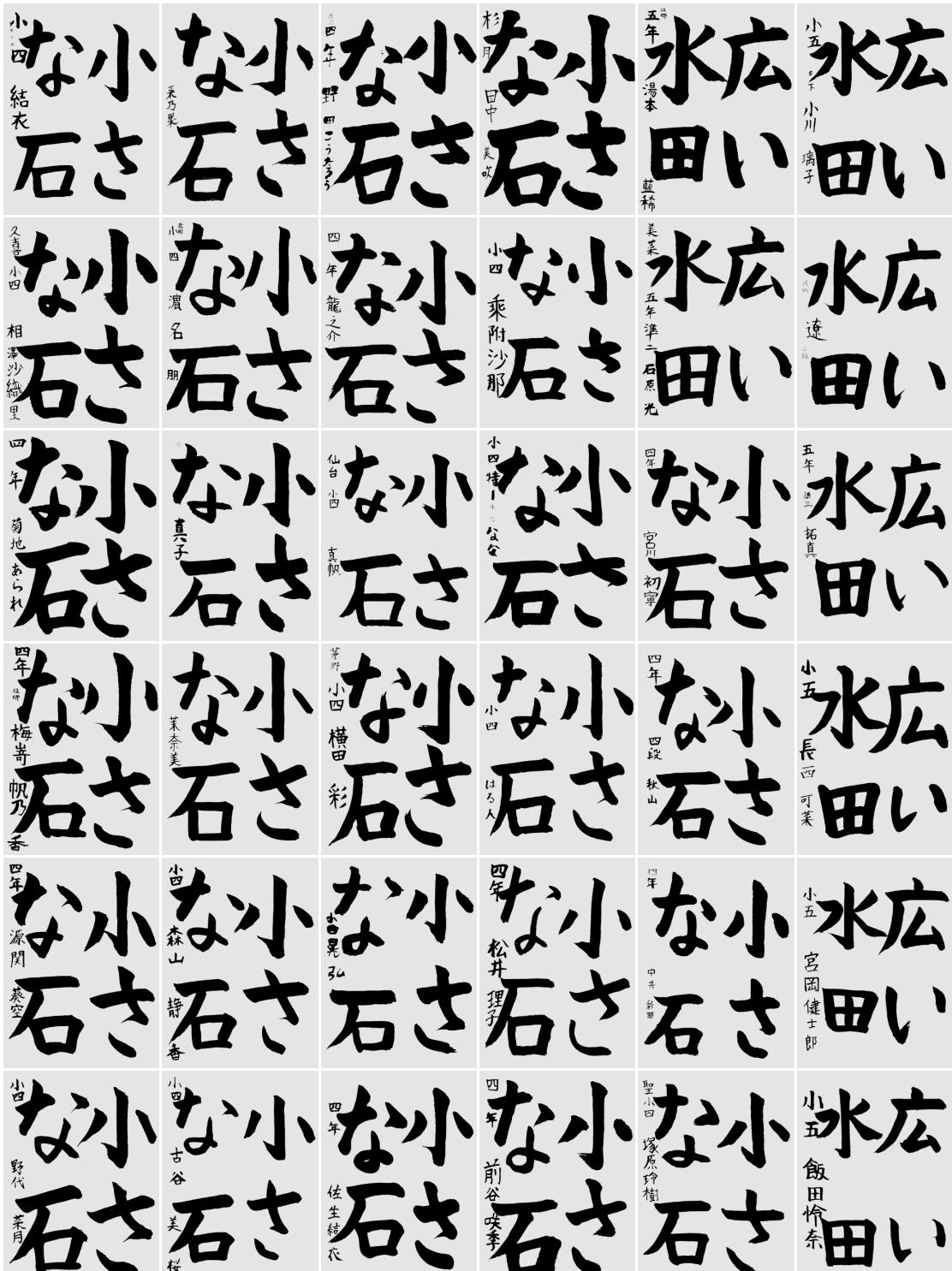
六年 春日 莉緒	な 軽快 な曲	中一 北村匠伍 弘行	太古の 物語	太古の 物語	太古の 物語
漢月 六段 山下 典剛	な 軽快 な曲	中一 四段 木下千鶴 海野 直大	太古の 物語	太古の 物語	太古の 物語
桜木 小六 四段 ほたる	な 軽快 な曲	中一 四段 内田彩花 内田 彩花	太古の 物語	太古の 物語	太古の 物語
杉小 六 成瀬明 日 花	な 軽快 な曲	中一 五段 石橋葵 桃果 中一	太古の 物語	太古の 物語	太古の 物語
小六 奥田勝 珠	な 軽快 な曲	茜 中一 内野晴菜 内野 晴菜	太古の 物語	太古の 物語	太古の 物語
六年 細貝詩 音	な 軽快 な曲	大 限 六 前田創	太古の 物語	太古の 物語	太古の 物語

千和 杉 桜 溪 渕 小 大阪 神奈 秀 倭 龍 文 中 野 光 丘 茜 小 光 上 龍 晴 美 絹 华 若 松 中 船 一 畫 之 中 央 筆 土 龍 文 大 象 若 松 虹 新 東 筷 須 坂 松 本 那 奈 子  
 曲 木 月 前 田 内 野 井 海 石 北 木 滝 浜 佐 藤 安 藤 佐 藤 田 口 田 佐 真 優 太 櫻 真 夕 俊 勐 美 乃  
 細 奥 成 野 申 上 田 阿 部 青 木 坂 木 下 岛 川 田 中 南 部 皆 川 惠 真 竹 真 壁 神 林 真 璧 真 璧  
 貝 田 ほ た る 村 春 前 田 始 桃 果 彩 花 真 弘 杏 仁 千 匠 順 佳 伊 邦 俊 勐 美 乃  
 詩 珠 日 花 典 剛 莉 緒 創 晴 菜 彩 花 大 喆 衍 繁 陽 菜 菓 菓 真 佳 伊 邦 俊 勐 美 乃  
 音 明 ほ た る 明 刚 創 晴 菜 彩 花 大 喼 衍 繁 陽 菜 菓 菓 真 佳 伊 邦 俊 勐 美 乃  
 (毛  
筆)

[中二  
・三]

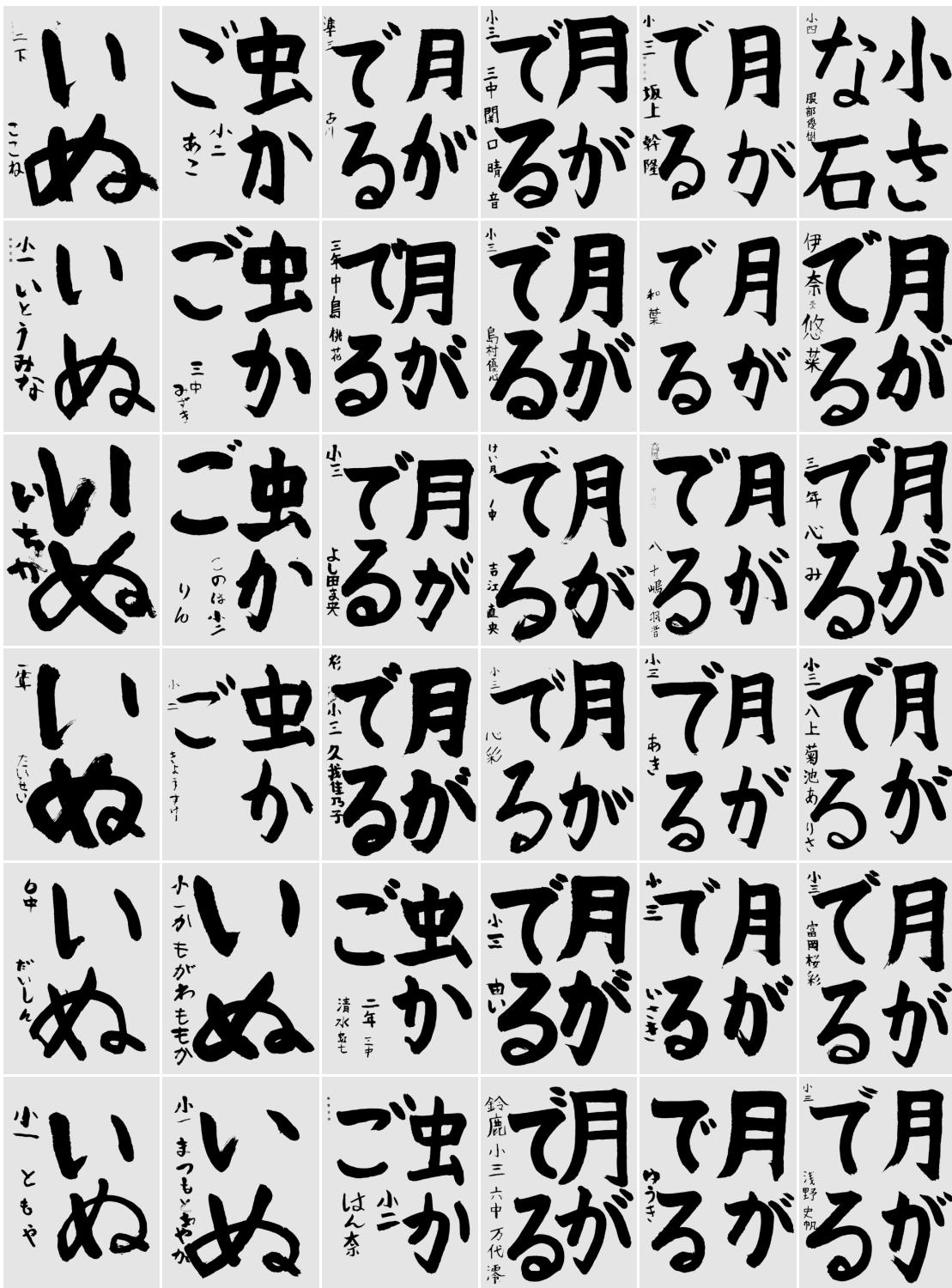


一葉  
皓花  
霞墨  
八潮  
田中  
岩村  
高峰  
高桑  
田中  
高崎  
高村  
近藤  
三島  
舞美  
希有  
希有  
希  
芽依  
彩希  
舞美  
希有  
 三池  
凛心  
若宮  
照澤  
硯扇  
高社  
北府  
光丘  
瑞祥  
有象  
虹苑  
峰  
石峯  
峰  
櫛原  
木村  
向田  
浅井  
品川  
伊藤  
 中山  
中田  
絹川  
宮田  
本田  
増田  
佐藤  
深野  
大鹿  
五十嵐  
千尋  
春華  
優月  
明恵  
愛美  
唯  
歩  
小雪  
里名  
朱音  
優花  
結香  
楓  
琉海  
沙弥  
玲菜  
果恋  
眞央  
朱莉  
涼太  
朱莉  
希有



【小四】

湊	朝日	霞墨	曉華	小川	璃子	遠
富士	柏心	杉月	宮本	宮本	宮本	可菜
有虹	汀楓	秋月	野本	野本	野本	拓真
往鄉	珠悠	中井	長西	長西	長西	藍稀
美菜	正桂	秋山	宮岡健士郎	宮岡健士郎	宮岡健士郎	光
	玄默	中山	飯田	飯田	飯田	
	書之	松井	湯本	湯本	湯本	
	山愛	前谷	塚原	石原	石原	
	好野	仲山	中井			
	玄巒	三村	秋川			
	茅野	田中	中山			
	北府	正龍之介	松井			
	珠紅	近正龍太郎	前谷			
	秀雪	野田耕太郎	仲山			
優生	月	書之	三村			
平成	たけ	山愛	田中			
野代	華雪	好野	正桂			
菜月	久喜	玄巒	玄默			
	富貴	茅野	書之			
	往鄉	北府	山愛			
	源関	珠紅	好野			
	葵空	秀雪	玄巒			
	梅寄帆乃香	月	茅野			
	野代	相澤沙織里	北府			
	菜月	坂本茉奈美	珠紅			



【小一】		【小二】		【小三】	
有穗	霞墨	この前原	山洋	伊奈	竹華
墨洋	花蓮	大田	山田	柳沢	衣服
秀雪	華雪	霞月	菊池	悠菜	優樹
芙蓉	雪	秀翠	ありさ	心美	
霞墨	花	溪月	八十鳴羽音	桜彩	
大田	高橋	葉月	和葉	史帆	
松本	片倉	光丘	心		
奥出	島崎	英二	直		
青木	久我	皓花	彩		
伊藤	麻央	瑞希	美		
田村	桃花	恭輔	多		
海野	桃花	心音	優		
安西	心音	彩花	希		
大成	咲南	鵬仙	乃信		
乃信	花	大成			

<table border="1"> <tr><td>ト</td><td>虫</td><td>あ</td></tr> <tr><td>ホ</td><td>た</td><td>き</td></tr> <tr><td>ー</td><td>ち</td><td>の</td></tr> <tr><td>ル</td><td>の</td><td>田</td></tr> <tr><td>.</td><td>コ</td><td>ん</td></tr> <tr><td>④</td><td>ね</td><td>ほ</td></tr> <tr><td>わ</td><td>谷</td><td>サ</td></tr> <tr><td>た</td><td>崎</td><td>は</td></tr> <tr><td>い</td><td>清</td><td>、</td></tr> <tr><td>く</td><td>香</td><td>ー</td></tr> </table>	ト	虫	あ	ホ	た	き	ー	ち	の	ル	の	田	.	コ	ん	④	ね	ほ	わ	谷	サ	た	崎	は	い	清	、	く	香	ー	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：谷崎清香 年齢：四歳 性別：女</small></p>	<p>大切な命を守るため気持ち を引きしめて防災訓練に取 り組みましょう。 <small>名前：石原菜花 年齢：六歳 性別：女</small></p>	<p>大切な命を守るため気持ち を引きしめて防災訓練に取 り組みましょう。 <small>名前：中林千晃 年齢：四歳 性別：男</small></p>	<p>別便で組みをお送りしました。 私たちの心がより一層お祝いをうし ます。ありがとうございました。小平社長</p>									
ト	虫	あ																																									
ホ	た	き																																									
ー	ち	の																																									
ル	の	田																																									
.	コ	ん																																									
④	ね	ほ																																									
わ	谷	サ																																									
た	崎	は																																									
い	清	、																																									
く	香	ー																																									
<table border="1"> <tr><td>ト</td><td>虫</td><td>あ</td></tr> <tr><td>ホ</td><td>た</td><td>き</td></tr> <tr><td>ー</td><td>ち</td><td>の</td></tr> <tr><td>ル</td><td>の</td><td>田</td></tr> <tr><td>.</td><td>コ</td><td>ん</td></tr> <tr><td>④</td><td>ね</td><td>ほ</td></tr> <tr><td>わ</td><td>小</td><td>サ</td></tr> <tr><td>た</td><td>田</td><td>は</td></tr> <tr><td>い</td><td>菜</td><td>、</td></tr> <tr><td>く</td><td>穂</td><td>ー</td></tr> </table>	ト	虫	あ	ホ	た	き	ー	ち	の	ル	の	田	.	コ	ん	④	ね	ほ	わ	小	サ	た	田	は	い	菜	、	く	穂	ー	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：小田菜穂 年齢：二歳 性別：女</small></p>	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：新田春花 年齢：五歳 性別：女</small></p>	<p>大切な命を守るため気持ち を引きしめて防災訓練に取 り組みましょう。 <small>名前：神崎まどか 年齢：五歳 性別：女</small></p>	<p>別便で組みをお送りしました。 私たちの心がより一層お祝いをうし ます。ありがとうございました。北村繪咲</p>									
ト	虫	あ																																									
ホ	た	き																																									
ー	ち	の																																									
ル	の	田																																									
.	コ	ん																																									
④	ね	ほ																																									
わ	小	サ																																									
た	田	は																																									
い	菜	、																																									
く	穂	ー																																									
<table border="1"> <tr><td>ト</td><td>虫</td><td>あ</td></tr> <tr><td>ホ</td><td>た</td><td>き</td></tr> <tr><td>ー</td><td>ち</td><td>の</td></tr> <tr><td>ル</td><td>の</td><td>田</td></tr> <tr><td>.</td><td>コ</td><td>ん</td></tr> <tr><td>④</td><td>ね</td><td>ほ</td></tr> <tr><td>わ</td><td>仙</td><td>サ</td></tr> <tr><td>た</td><td>台</td><td>は</td></tr> <tr><td>い</td><td>花</td><td>、</td></tr> <tr><td>く</td><td>子</td><td>ー</td></tr> </table>	ト	虫	あ	ホ	た	き	ー	ち	の	ル	の	田	.	コ	ん	④	ね	ほ	わ	仙	サ	た	台	は	い	花	、	く	子	ー	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：仙台花子 年齢：二歳 性別：女</small></p>	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：新田春花 年齢：五歳 性別：女</small></p>	<p>大切な命を守るため気持ち を引きしめて防災訓練に取 り組みましょう。 <small>名前：大矢優奈 年齢：五歳 性別：女</small></p>	<p>別便で組みをお送りしました。 私たちの心がより一層お祝いをうし ます。ありがとうございました。山口花音</p>									
ト	虫	あ																																									
ホ	た	き																																									
ー	ち	の																																									
ル	の	田																																									
.	コ	ん																																									
④	ね	ほ																																									
わ	仙	サ																																									
た	台	は																																									
い	花	、																																									
く	子	ー																																									
<table border="1"> <tr><td>ト</td><td>虫</td><td>あ</td></tr> <tr><td>ホ</td><td>た</td><td>き</td></tr> <tr><td>ー</td><td>ち</td><td>の</td></tr> <tr><td>ル</td><td>の</td><td>田</td></tr> <tr><td>.</td><td>コ</td><td>ん</td></tr> <tr><td>④</td><td>ね</td><td>ほ</td></tr> <tr><td>わ</td><td>雅</td><td>サ</td></tr> <tr><td>た</td><td>央</td><td>は</td></tr> <tr><td>い</td><td>愛心</td><td>、</td></tr> <tr><td>く</td><td>大矢</td><td>ー</td></tr> <tr><td>仙</td><td>神崎</td><td>ー</td></tr> <tr><td>社</td><td>まどか</td><td>ー</td></tr> <tr><td>高</td><td>優奈</td><td>ー</td></tr> </table>	ト	虫	あ	ホ	た	き	ー	ち	の	ル	の	田	.	コ	ん	④	ね	ほ	わ	雅	サ	た	央	は	い	愛心	、	く	大矢	ー	仙	神崎	ー	社	まどか	ー	高	優奈	ー	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：中央雅愛 年齢：五歳 性別：女</small></p>	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：佐藤千恵 年齢：三歳 性別：女</small></p>	<p>高原の朝はもう空気がつ めたい。赤くんぼがとび秋 をつけている。 <small>名前：佐藤千恵 年齢：三歳 性別：女</small></p>	<p>美術館に行こう。本物に出会う喜 びを感じながら、自分の感性を磨 き多くの発見をしよう。 <small>名前：山口花音 年齢：三歳 性別：女</small></p>
ト	虫	あ																																									
ホ	た	き																																									
ー	ち	の																																									
ル	の	田																																									
.	コ	ん																																									
④	ね	ほ																																									
わ	雅	サ																																									
た	央	は																																									
い	愛心	、																																									
く	大矢	ー																																									
仙	神崎	ー																																									
社	まどか	ー																																									
高	優奈	ー																																									

競書成績

□写真版  
☆秀 作  
○昇 級

葉靜	葉	華錦玄	高文照麗霞央茅富巍游唯玄嵐珠宮土有笠紅笠宮宮飯汀一擣相	汀董	聖名	蒲	大	北秀	中美光雅北源瀨玄央杉北秀藏新珠春月													
月	雪	黃嶽	風橫澤墨雲	2	野土山	墨心山紅地筆象原竹原地	川山松葉森模	松	東	田	象	府雪	野菜丘	府創戸成	城	紅秋						
衣惠善	百華	錦鑒	真裕高荷昌	珠光濱	美禮體和	弥良信	晨雅美	廣応恵明	響涼良旭	順輝	恵璃	敦典	佳さ	雲水美厚菊	と康霽夏	佑邑夏玲蘊煌津	綴梅晴	千				
美	合	濃惠	音	美	く	也	も	葉希	弥	す												
利子	一子	孫虹葉	葉菜香	月玉之川	恵重子	子光子	雄生龍子	光光子里	唄弓子	美花香子	美子	香美子	子子	ら峯	峯子	江禾扇子	奈清美え節					
相自	紅董	象富美上	サ樂巍央	々	玄志御	静若葉京上映	々	玄柏	富長皓	産飯	折書龍心	小大聖產	靜	星水若玄北甲	靜宝	小書游茅	美巍竹	沙若	々	京	碩帶	
模	產	竹	月士容里	シ書山	横摩牧	竹都尾心	黙心	貴翠花吉田	原集文	和平象	吉翠	代宮心	府府	春光集	墨野森	山友	師板羅竹	都	雲中			
秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	
初心	德翠	洋秋	壺溝香霞	齊晶統聰	遊盈冠	々	悠康映光	旭芳天	壺樹皓京	成陽柏	テ映	湖虹聖花想	想祐怪峰	根挿玄	悠琴秀寶	小才	範名	李和み	紀昌	武勝		
奈	実	す	ル	東	田	象	平和	山田曜	菜宮	烟	代心	南丘	府	都	雲中	秀	秀	秀	秀	秀	秀	
江快	美雅	子代	桜仙織子	菖花山華	月心	泉子	楓蟹穂	絃舟虹	藍光花	春華子園子	雪亭草	果瑞花翠子	石雪紗	翠水峰	春孫祥	光子	玉映子	羊紗子	み	幸浩弘		
大産	大	蒲横	中	大	小心白半土	々	美若	石	水玄	八絹	静	北六	々	北玄	若浅櫻	巍靜書	笠梓瑞櫻	藏	笠晏春	伊西東硯	大磯浅	
象吉	象	田二	野	象	平和	山田曜	菜宮	烟	代心	南丘	府	都	雲中	府	成間森山	集原森洋	森	繪原墨	化雄	光扇版	界間	
翠勝	祥	文	玲典義	榮肖	逕圭芳	木芳美照	景壯	霽霞	翔邦	那隆祥	勇美	希象	玲珠	友玲	昭千凌寂	三仙隼	永玲肇	湖暉	吉靜	豁泰好名素	惠泰	
邑	美風	煌子	笙子	之香	栄光苑	華月	亭節	城山	香苑	月華鶴	哲雪	月峯子	紅月	那美	翠山	翠子	翠山	翠江子	泉山	英秀	暉尊	
國	国	書	大書	四	石	々	玄四	柏	中玄柏	々	富	柏	々	富	須	妻	聖	皓	々	長	須六	々
府	之手	谷	峯	默谷	心	勢	黙心	貴	心	貴	坂	科	花	翠	坂会	雲	花	山	二	青皓	瑞雅	
景	景	翠	成	春孝	光蕙	美八	瑞真	春守	清天	大大盈	麗華	桂桂心	蓮	天典重	棟楠	藍怜	陽華	智智惜	春碧	真皓	翔秀	智智
重																						
仙	草	逕	美子	風翠	幸子	月意	道玄意	我	慶心	峰	耀美燈	舟苑	舟子	舟	舟月	香景	英祥	輝春	清瑞	以	雲子	光光光光光
光	鈴	窓	禮千道	由	照哲都	陽光	靜秀	光光	小谿	亞麗華	燭火	紗	翠葉	麗節	萬千	紫千	秀妍	菖	葛映	映景	雅峯	美
森	潮	國	原路	森	原	尾島	原	尾島	集	尾	心勢	訓	穹	心	府	桂	正	國	湊			
天勇	劍	搏	光文	小寺	逕み	霞夕	笙泰	泰泰	泰泰	泰	泰久	智泰	泰美	治	康康	映	映	映	映	映	映	映
妙	山	山	嶽琴	月	月み	霞霞	仙	帛	穹城	桂	蕙空	松	咲	い	篁惠園	舟寿	吉	翠	山	嘉	さ	
小	土	小	港	東	美	小静秀	小茜	文	文	文	文	文	文	文	春	土文	有	岐照伊	靜嵐	若	靜玄綾	遊遊
光	曜	南	光	南	光	墨	光	雪	化	象	化	象	化	象	化	象	化	象	化	象	化	祥
光鈴	窓窓	禮千道	由	照哲都	陽光	靜秀	光光	小谿	亞麗華	燭火	紗	翠葉	麗節	萬千	紫千	秀妍	菖	葛映	映景	雅峯	美	
綾華	真峰	苑子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	
岐	八	八	國	八	八	笠	一	一	笠	一	一	笠	一	一	笠	一	一	笠	一	一	笠	
大	阜	南	生	華	吉	原路	原	尾島	集	尾	心勢	訓	穹	心	府	桂	正	國	湊			
孝萩	秀雅	濤裕	由	善勤	青淡	淳	秋翠	祥	千由	か	弘正	春美	幹香	高茫	見	江千韶	良江	由明美	董琇	雅	明瑞	
美	都	紀	都	都	都	知	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都	
子	泉翠	惠泉子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	
子	泉翠	惠泉子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	
備	美善	玉錦墨	上善	茅玄	善	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	魏	
五	隣	獄黃心	里隣	野成	隣	山	書山	山	嶽奈	和嶽	井墨戶	庄根	化尻	南	城	戶	城	南	生	武鳳	羽	
菅	八	壺	詠	曉	峰	素	詠	青	雨霞	澄	江松	慧恭	美双	李幸芳	英葵	寅直	證武	久	翠翠	華	朝	
珀	コ	清	登	李子	泉	溪	映	松	道	弦	舟	香	泉	江	青	沙	香	影	葉	翠	子	
木	八	玄	高	央	南	玄	華	沙	產	黑	央	魏	葉	魏	魏	サ	ハ	ミ	ハ	ミ	ハ	
樸	コ	清	李子	泉	溪	映	松	道	弦	舟	香	泉	江	青	沙	香	影	葉	翠	子	子	
柚	桂	夕	橙	芊	小	春	清	有	殖佐桂	越朴	華奧	穗綾	花琴	植	薰	子	子	子	子	子	子	
香	春	紅華	里	楓	里	楓	子	美雪	山	山	苑	羊	羊	月	子	美禾	苑草	山	茜花	影	萬子	
静	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	
玲	優	君	靜	江	太耕	汀	豐	鐘	貞	玉	靜	梓	靜	梓	靜	梓	靜	梓	靜	梓	靜	
秀	月子	敬	幸	一	山	月	心	苑洞	泉	千	虹	志	靜	苑洲	靜	靜	映	映	映	映	映	
小	龍	明	採	秀	松	梢	穗	真	昭	博	佳	和	典	信	初	寿	邦	紀	雅	明	禮	
佐																						
流	雲	光	花	庭	葉	波子	楓	惠	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	楓	
巍	玄	飯	磯	歲	成	東	董	新	若	中	美	六	穀	聖	蒼	書	榜	榜	榜	榜	榜	
山	心	田	辺	城	陽	城	松	野	菜	会	山	野	集	森	原	光	亥	象	象	象	象	
純	菁	葉	葉	梅	悦	溫	感	敦	佐	陽	明	康	尚	悠	朋	ふ	花	富	理	高	嶺	
以	登	じ	美	紀	こ	つ	て	た	さ	れ	き	わ	う	め	く	さ	れ	さ	れ	さ	れ	
松	子	翠	楓	榮	清	子	心	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	
国	霞	笠	妻	緋白	美	玄	大	上	高	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	々	
府	墨原	科丘	山	院	坐	麗	風	晴	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	瀬	
秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	
峯	鶴	夕	泰	春	象	照	露	吉	照	波	陽	自	輕	自	軽	自	軽	自	軽	自	軽	
苑	霞	舟	清	月	節	月	雪	舟	子	玉	仙	理	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	
山	苑	霞	舟	清	月	節	月	雪	舟	子	玉	仙	理	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	

花象	長野	静産北茜莢芙蓉巍嶽藏笠新董美今富柏蒼中上桺書玄書桺 吉化府吉蓉山原城蓉井貴心森之默集森
翠照	静静松富靜要靜文秀玉靜鳳溪靜恒杏幸小玲盈優君靜靜江靜昌裕想玄悠蘆秋蕙霞小霞翠綠惠泰敦翠蕙石韻妍秀菖桂康天哲豪蕙翠天志谿雨谿素彩	
花靜	鈴唱韻靜澄竹信靜華靜千吟苑淑靜靜翠秀月子恩思靜敬靜花華翠沙麗菖蒲映泉山水香仙子雅桐霄春進采舟象麗風耀螢妙山峰翠遙道暉虹祥州紅	
模摩	瀬戸五成野草文原台訪文	玄志瀬戸美玄茅若右折寿甲霧右碩京杉源若御若干信 都創竹牧竹曲大
亮輝	薄清雪未竹一友草喜心典白繁陶清盡汀天春素晚美草松柏訪琴舒梢	泰壯嬉昌多洋博彩美津信美初邦悠良龍明採曉雪享香嶽冠欣鐘豐貞鐘貞汀計耕靜梓 惠猛喜代
風山	花子園心風梅竹春鈴子羽德華公登青澄海舟道子園菜園泉水山琴雄一子幸子楓鶴楓楓楓子楓鶴楓雲光花汀永月文心泉月嶽苑月洞泉心華山志虹	
菜文成洋川燭	央南善淺港東三美富美磯大萌自上岡東大葉上白備柏備上長高サササ 吉墨隣間南陽林墨土墨辺阪象產里谷根泉月里岡後芳後里寿風ン	
霽靄	映朴な観泰燭京佐齐禾琴越桂詠愛窓空由か宏正都美哲陽葉葉葉葉萌珠靜和陽秋萌敏陽玉朋美八我博菖菖薄陽壽寿清洋直久詠美豊碧里春夕小 お紀つナ美	
紗	遥雪山美心泉杏江美花苑月山雪李光峰真苑子子光穗子虹紫曉徑苑草玉悠素春秀明河泉子映泉泉泉コ山舟朋伯佑山松香散風仙子舟砂翠舟繪里紅董	
桂桂麗	麗康康康尚聖廣大八瑞成和守天光光景景愛光劍溥文小英優素星雅美峰景景汀泰泰泰泰泰最華汀妙紀響遙壽幸西雄惠様真光美珠徑竹景南壽 重	
美富	惠春沙仙照惠山嶽山我子月美峰道意紗草光鈴水山山嶽琴遠華風紅華仙泉仙泉紅城篁松壽薰桂蕙空秀遇西仙光光月月楓光峰芳舟意風亭靜石虹城彥苑	
芳清	土玄藏八遊靜桐八松岐八文董彦本桺美神南須聖淺妻東浅東神乙富柏映蒼 嶽隣堦心南象生戶南阜南化根庄森奈木坂間科陽間和訓貴心心穹	
葉	葉風香汀山峯惠雅嘉成翠泉石凜香苑花山流子泉子龍悠紗陽真宏秀山雪泉岳洲憲真翠瑤泉春靜峯杳苑光映泉子子藍夫舟苑晶舟舟聲舟峰芳華月翠峰舞	
笠	桺長玄墨松小乙東瑞六長玄若京碩有小霞東葉八霞春港飯紅土港伊有北小玄晏有小産紅南宝松自秋巍一原 森翠嶽心南川訓光洋鄉野樸竹都五雲象光黑月戸準墨玖南田雪福南難象化府光樸墨象光吉竹武春風產川山繪	
秀秀秀秀師	久喜好佳李翠流京名香秀嶺春太典里武花光虹ふ和光範雪錦千玲恣成美紅蕉玉節麗隼小光光黃泰愛耀光高青茫穗壽陽千清心翠恭美齒霞江雨茜秀 厚代津輝み	
惠游山蓮光葉溪	惠游山蓮光葉溪琴子松子靜花嶺一楓奈浩庭穂霞え扇霞風代窓心苑子柳華苑翠苑山孫惠霞華麗花綾苑松苑美煌笙春秋遠快范影蓮英舟茜草光	
華	華足相光上サ若花長靜志瀬北灘有樂桑有樂瀬有樂瀨有樂華瀨志相桐足東小書映石巍巍玄上華六央華龍玄春神小富浦柏 雪羽模丘尾ノ竹象野摩戸府戸象書雪戸摩模生羽陽光集心峯山山樓尾雪会雪文黙祭奈平師硬貴田心	
華	華美敦裕康康香直里詠美久恭翠靜君小雪汐友五弘陶喜心白友草有笑華典聽優初潮照見旭光焰瑠西慧西小康華美四華紗光京懃杜筆重文泰 智美實惠鳳子照惠螢織子繪舟舟沙子月花唱子翠園香梅代美華春鈴子羽松竹美子煌暎子月江石陽紹山惠洋穗月英香草楓仙優子葉苑惠紗節泉華子子咲	
華	華聖榮國皓大書樂魏若白美八靜桺書華玄大灘有樂瀨葉中松寿月野友台京聖書山府花手之書山松山菜南森集雪樸泉戸月野友台都	
桺	桺富典美霞江雅皓み翔光蕙苑美心小肇明照壽希珠小素文光愛雨谿華華華春渚芊橙袖弘繁一柔石啓ます穗尚真招絆邦惠明紀禮美津邦悠信初洋花華 紀さ夜	
蘭子	子茜泉茜華花子子翠沙心麗花子子節苑紅靜琴州嶽水鈴虹蟬絆運駿松凌里月華香泉子德風軒心子子翠沙子子子美子子楓楓楓楓楓楓楓紋慧	
足	足桐美飯紅美乙聖美玄倭魏有伊八秀玄倭笠土港小茜有小飯游飯碟大美桺文笠石玄映中六雅珠富聖高羽生咲山竹蓉訓蓉嶽山象奈南雪原曜南光象光田墨田辺阪墨森化原峯默心勢會悠貴	
雅	雅秀真英惠明千紫真蕙幸葵采李綠小霞晨櫻康冬秀泰泰泰鈴窓空光光小茜節光成征泉青葉萌珠敬都涼曉泰惠八大幅映映桂桂明千雅知典碧華 惠理美奈	
惠	惠翠子雪子美惠晶紅少桜葉子葉葉葉葉映舟雪花絆雅悠帛挂舟煌華心真連霞絆沙苑綾光梢翠末玉柔玉光香麗仙子美子慶芳祥華笙舞美実子香子子瑞英	
茅上高等	茅上高等乙晝土上美水柏大聖玄北上野里風原訓集堦尾菜代心象黙府里基	さ秀有東葉志京北光大皓晝土東相桐華桺玄亥船玄文葉號巍相准模東文唯東足八 わ雪象根月摩都府丘象花之間陽模生雪森黙樸心橋樸化月山山準模陽化心陽羽南
曉	曉白泰尚友谿花康康霽峰硯惠聖花類永濤本佳	秀秀秀秀秀師
道理	道理葉城子子霞春豔苑雪舟芳果瑠山翠仙	花里夕紅真涼美由勝皓成春湖敦良濤知華優星素圭め廣瑞蒼紗芳葵貞美節江千祥玄聰江佐春秋萩枝智
倭	倭大上大笠桺時曉信龍玄靜的聖大國游藏磯浅	衣奈節雪子華子子里美雲美子泉子泉容子穗華紅鳳凰み峯音玄虹子光松香子心惠靜己苑華子風代信泉
東中	東中青雅大富聖魏玄長巍灘土八飯靜信玄美巍靜	高巍美夷岸桺玄小巍石笠桺小產浅靜巍半玄玄巍富有玄長桺花長靜玄風山蓉間原吉森成光山峯原森光吉間山田黙嶽山象黙森象野
根野	象貴五穀書山樸野山戸曜潮田大黙菜山翠	模田風五化森里山里竹山菜五原象吉松雲野樸代吉
紅穗	穗山千純清染典季段翠黃皓秀真友花寿成静秀梓万天霽霞靜	正靜景白汀曉勇陽翠薄太江霽春泰香翠翠秋賢玲秀優靜靜肇竹靜靜覗夕峰琴木研究
岸	水春果穹山舟代虹雪華翠花瑤光香一香曉映苑泉山松花志	憲真小霞蕙愛泰想溥穆小貞瑤泰佳光秋祥靜翠景光祥英茜壺香天樹紫翠秀盈統春芊
隆美	霞露神玄東笠中柏青玄信美巍長船竹サ書神相東大文有磯	花志映菖芋桺光仙花山舟秀松月弯蓮綾麗映桺山城紗葉草藍窓遙光草花靜月華里
九丸	丸段惠禱三古川室納坪山森内木大栗香鈴倉石木濱熊糸春段藤泰百吉吉田池横芝白太京竹晟小晃平豊百戸段翔珀并梅禮江智泰見里志欽高波伊星有山井	相靜半高文梯上巍上若巍美矣有「董座神」静若青靜長覗玄水產央模田風五化森里山里竹山菜五原象吉松雲野樸代吉
昇	昇宅原墨準龍耀光原勢心雲心大菜山寿橋華ノ泉林樸陽阪化象四辺	正靜景白汀曉勇陽翠薄太江霽春泰香翠翠秋賢玲秀優靜靜肇竹靜靜覗夕峰琴木研究
隆	隆美晨風楓健米田綱明廣高華溪寿敬幸纖織農美良感珠虹仙葉煌帛雅広安満理靜華め荷春逕光處翠紫子涼敦峯舟原清子風陽淨紹香世造弘野と早希	惠梓城葉青麗山映山仙一西月海仙窓雅紹麗山秀峰月敬秀子虹思唱心紅雪月苑

樂巍新董大杉書靜玄八虹玄サ書柏芙蓉東小春北大董映土虹雅笠愛石若白長葉紅八新土草美大磯飯麗一乙丁有飯磯長玄茅高書水大乙書山城阪絵泉心二戸友嶽ノ泉芳五玖陽光玖府阪心準筆友原心峯宮園寿月竹戸城筆睿阪辺墨絵庭三象田辺野模風屋泉代象訓
神古和川翠片三秀及長貞段工淹澄湖石鎌智茂節禪山姫頌上戸坂中段光中雅杉禪原西野佐小大平中谷渡藤水吉大葉岡紅恵友北段比安古静瀆長小須藤藤荒田賀本岡浦川谷島藤瀬橋上江田田野野中溝島山口繪鷗澤藤泉輪野村地辺木本原井庭佳ノ木屋田島林藤牧原本澄晨麻佐笙珠玄庭翠川玄和響葉葉美小子尚真已成千山優龍輝映蘭明映江せ里洋高梗香琴美春晴桂靜明瀉園薈川夷子園彩完葉葉映緑正真香隆翠京
映拍若新相源北桜墨映笠六柏瀬若信大北有静野央若柏桜曉琥笠石中柏有大磯遊書美八新游麗東董四大笠柏霧静若湊琥等八サ心心宮城模創附特森洋心原会芳戸竹大阪府象辺松芳森准月山原峯野心象阪辺墨集菜戸潮初城墨墨陽谷象原芳訪松准原戸ノ
映寺竹松摩大松岡細級奥平竹青映伊平成加白池佐高登宗小槻テ衆八百段富闇中首悠合土上武井加山テ山陽木森和森折山藤高土泰中心新赤小藤段葵角迫松音尾前下菅本江原林澤木藤井澤藤川田久橋志形鷹本田瀬山根原原葉田居上藤田里田内田島笠田橋杉井島倉澤田森崎田田原穂春梗永紀レ正邑那柊桂香千笙朋ふ衛五弘晶間耀子麗靜淳ヒ八芳白智花宏節華詔晨弘葉征子霽み日彩美琴敦い優雲岑や舟立み由美光雄真幸
珠宝志游春六小玄桜琥珀柏文妙磯大八静大静新大麗玄琥綾茜芭書六さ瀬葉玄小有源硯玄大晩若八平三東大一笠源八書大中静有琥笠悠春墨攻6会光嶽森山芦芳化5高迎阪潮阪4象城阪墨模大山華戸3集会わ戸月默光象創阪2月駒戸成林陽阪絵原創戸1集象勢象山特原
半裕倉周京千光幸堀浅磯羽大級草葉針仁林山級聖度安吉勝堀伊柏久西江級梅明梶石村上光歌宮真影林級唐真小上佑青筒松李若宮金級熊小辻吉夕山級篠田谷藤嘉内野村田橋寿平玲田邊村木内藤崎戸田原黑石原木山珠木笠嶋野井田林本見田沼岡澤口之知美良文節子覗み洋ち龍信花喜賀奈由果患代久芳里富惠沙恵正実節民愛章播節仁理浜辰暁花原聰子竹江司風真純勇宗啓靜節縦井
美玄高美曉サ玄富北五環華沙荷有笠書中長大笠珠葉大富怕長葉中大有杉富長央葉曉石長静笠花京大磯藏土五横風苑ノ横貴府雪羅雲象五楷原集野田原悠月8森野阪象士野月峯野7原都原阪
茂濱ま山新鳥伊遠尾山石佐梅由華伊鉢田大段書市吉山笠吉石岡鶴高啓知宮坂飯相白渡マ鈴真級湯肖落有早吉秋美薰宦宮唐植王級塙本和濱能藤嬌田田さ田井海藤藤崎口橋野原藤木森博尚縁み航知真と綾由藍安恵華貴穂知順か沙朝さ瑞美和八鈴よ子真由と美真美陽子敏子坂華良美静煌代香天芳曉由元麻真朝代葉棲光
文須東船李伊玄綾岐照茜知葉嵐静笠霞奈神宮桜苑桜相宮樺美皓大飯衫名杉四書柏大"和珠雅中美水光桜六北秀北頃京北瀬サ南巍高化版準光橋幸心華心阜澤床月山原墨華林川花模地森那阪花阪田東月谷之心象悠野菜代丘木会府雪府雲都府戸ン山風
川木段土飯幸黒南島真野一吉幸渡増今角服浅倉井春花大牛上泉高皓田勝青大杉美咲大小田松大半原豊山佳松野平宍小宍松上齊梅石星友渡福加唐松小久下屋田田條沢由村ノ田辺井塚井崎部野科戸村山音丸條和橋中木津川谷沼島本森田口田代木本井戸百戸川原藤津黒野里部里藤山川林保美千裕江菜了照美良瀨富子陽久佳秀雄佑悦豊坂美垣昭レ和喜美蘿雲満江譽仲峰幸奈真宗静孝淳知佳枝霽子麻まろ羌合千絆滿伊八民早江福ま里哲楨真
中皓僕"玄伊伊一土珠游産瑞士"笠奈玄笠平新野新大八書墨書須湊長横大久聖八さ信神光北秀若中倭玄若霧北華富宝大有巍勢花四心那奈一絵筆紅墨吉祥筆原華嶽原成城込城星阪南之洋集坂翠二象喜南わ州龍丘府雪松野嶽竹訪府雪貴春淀象山
川藤西段荒山松久林池麻天宮周遠作村樋若丸伊古菅新吉成松榎和石間大宮山竹梅熊吉白藤小田新中宮寒桿上丸山細吉耀加塙長佐新細鈴大藍佐武宮峯原井戸川下村保か田生野内藤峰野口林山藤田井戸下本田井瀬井田元原澤田田木本森林島井谷川原西山本田富百藤崎田岐藤倉木川久内田村田有宏一優雅おね理絵か文櫻沙則せ真隆明ナ美安幸津麻戸ル凪由賀幸正朝千美桂惑雄美瑞端正節由百雅合昌み晴喜舞立知め香問秀由伊
新秀青光大柏秀静若研竹富東書錦"倭志静美虹横座大若笠藏杉平相書笠"小有土静蒼玄睨飯草八柏龍横座青八水美月季中横青竹長美瀬原座玄星雪雲丘象心雪竹雲友貴根泉黄摩菜友準浜吉象原成模泉原光象筆山寫黙扇田戸心二吉雲南代菜光野二雲華寿五戸創吉心
田甘馬加島林寺中赤大富佐宮齋須寺冲小倉林大滝段森渡柳福池藤片澤栗松鈴杉浅山田小黒間藤村藤工室清大宮竹青鈴柴森松飯土小武田上齋原加宮小板中場藤千照尾田澤塚岡々崎藤島真田谷玲橋瀬晨邊川田牧山娥原本木山野田中野田宮山本松橋賀津澤木田木田美落塚屋田村條藤澤藤本原坂尚惠い政春子春希み白醍木幾由香舗由昭良奈明響英一勝朱理穉典舟智正顔江昇成患澤祥花共歎充い和駿信忍帆逕遙し礼忠亮鏡明弓梨寿百朱智香昭和
秀玄龍花心大秀芙皓長久"杉游瑞一一"土晏虹平松草新横八成平華妙書石源灘横土高茅サ有高麗豎雲杉信八桐宮笠有大刃浅玄須皓石玄墨雪心文象和象雪二花翠喜墨祥繪葉象筆墨苑成戸城浜潮南城成雪高之峯創浜筆風三野ノ象風墨墨山大戸生地原象阪松間黙坂花峯黙洋
佐井菊本西島澤伊鉢西小笠室高赤小猪深登是鈴井真堀輪杉木水木錦新中佐樓長佐西宮宮遺山清段小松村中折字鍔新前山谷川都中村吉林横上本岡苦漆青々土地間千崎庭本岡林橋原木橋井坂谷谷井橋鷲本澤藤下兼林日本本笠留屋田山地竹原本村田山原多田原谷木本美広あ由裕梨朱結盛夢那蘭葉惠実さ子美良武咲介子詳静日晨利麻信あ川咲春洋仁眞美矣眞則寅琴賀百高春雅恵宏奈久絆草千節競千
長八大倭儀横華溪横有春麗珠千蔵峰秦八奈笠信横八宵玄正中静桜横"秀若彩葉玄長頤信窓横成静サ"船高一"倭富船長瀬葉曉正霧帶若花翠潮阪二边雪月二象玄墨曲野戸華原大浜潮月黙桂野翠木山二雪松筆月嶽雲大春二城準橋風絵土橋戸野月華桂訪中松苑
荒持松森尚染森松清金西柳保馬山栗迫阿白佐清小長豊小川佐伊北東熊八田井谷中柴松大中伊木森齊大鈴段石中仁佐武石小高大油日付松宮丸発加五河井田田知井橋谷内藤水澤島原井場下飯田日久水林山島林端々勢平瑞谷木川上透沢崎西島藤村尚藤島木橋村木孝藤原隣磯橋中科院石島下山藤月辺優美司子尚辰紀麻江美光亨寛果原幸操紅間川倉俊美智由木崎清光あ美典華久修裕智健均早美蕙敏清美友陽美匠律典真岳ま野愛晴裕皇朗和女真
書八"唯東横大柏"聖名四乙八美光横船葉萬長若曉秀若大竹華月書晚八有華長横大華"杉倭桃一笠玄華名"四成美平頃秀中横杉玄書倭志長若聖集潮心光二象心東古訓南二丘二橋月戸野竹華雪松阪華雪泉月潮象雪野二準阪雪橋井葉原燐雪東谷城容成雲雪野二月樸泉野野松
高小古今星亦齋合宮林久永山大川酒瀬鈴鉄礪相上池熊小武秋村上及平中早鳴寺鈴段森鱸水齐菊本佐保藤山諏竹藤三川三大土篠中高林木鍊鷺鶴鶴衆宮橋澤本良済澤葉川下竜保済島本口古井木村本原野澤田居野山川原島木大中桃田山島藤村尚林付下音浦名田島屋山田柳普さ上谷銅匙下田真美惠裕由峯美詔耕溪矢田智詩留秀清理敏ち美京佑ひ由弘裕望尚翠紫美靜潔ゆ瑞愛石娟桃理佳千里挽孝朋恵眞久弘篤幸さ泰美満予ら小美和子八美
伊赤優柏平文八花静鄰こ瀬若有秀高宝城に有城瑞玄"華玄富新笠小書聖大書新蒼杉大小霞信玄八"秀練姫珠縫城玄一笠秦神八墨石生心生成化戸の準苑翠山の戸芳竹穂雪春橋の象彩洋機雪燭貴城原光之心象阪集城穹月阪平墨大耀戸初雪馬紅華彩心葉原野林戸
湯宮大飯宇櫛生橋段北小柏清林成清植鈴久筆後松大日高穴秋鈴青池神篠中岸坂越西田林小重木武長瀆當佐堀清江段竹鈴坂杏小平南中一歌古三田酒野澤下鷗島田野芦笠村林崎田梨澤水草木末室藤本塚置村原谷木上林之島波野川村中珠山松村人南田間篠内戸見澤木口潤田條りノ田田杉中井里真如瞳真川祐原里す輝富晶香衛勝光納大好舞綾和倫美義賢里清惠桃井真勇萌裕奈百恰田千香知滿月百ち満恵純栄こ宥華千真成亮鈴円和チ和次
志溪玄水沙大斬"小花珠玄上り高"勝有葉千奈小京玄練こ倭杉文八横寶大大形帶竹玄溪月帶八美さ珠小桜成平北秀等"聖須玄游瑞國泰小平摩月樸代羅阪星平雲悠默尾ん尾木象月曲華光都特心馬の化戸浜春内淀筆中華燐ノ獄月中南二わ悠平森城成府雪原坂燐墨样府野平成
山小堀山富齋石羽藤寺鶴高竹早笛田後高近後安統木中級池吉高大根杉田田南小中松金山伊橋丸松中增田中鳥村高岸百桑安富宮南簷青富藤長佐保小山広本田内本崎藤川山井澤田橋村川部藤橋藤藤野村野田橋野津村名野霜川下井田東立子澤川子名野郡山田野瀬田彦井原澤河木澤山竹藤谷宮中瀧伊佳里文則清淳京弘豊み楓桃悠豊直節菜由旺智惠千真智文浩和久部晨優育百ア奈奈い茂歩君田幸智直ゆ澄白幸直萌宣桜亞原薰澄夏雅華絆千真今
玄大飯硯静中秀船八大秀中希玄美若平中大京"秀"美静大"皓笠"玄磯東観四中大桜書秋秀華竹華ひ若八勝晏八華汀美成鎧富北雅大柏瀬心坂田戸野雪橋南象雪央望燐墨竹1成野内都樸木雪二翠象花原心辺陽谷扇谷野風野川雪華雪ま竹南木墨潮楓雪特城野黄土房象芳戸
吉吉北佐黃今玉金原高吉宇平中原小柄戸清山西高蛇込今刈稲内塚坂林石狩若林宮片辻山奥松間村仲太相山後仁石子級林酒小齊石西玉心安村井原々海井并田橋村田澤野村誠森澤根木本川橋川本國込葉山越腰愛井野杉井早嶋山岡原田原山中村田原真崎藤平橋木幸井池藤山井原藤美み木瑞優麻笑美忠川田彩紫子悦川美恵邦真梨奈真加芽浩菜儀友和ゆ強千苗文記啓リ終和希美智桃弥史由知晶大賀美祐子久あ美季真力理舟ち

大新皓中蒼美汀船柏右美曉靜美皓杉大桜 美水瑞皓月 中倭玄"船" 笠花曉珠 秀若美高ひ硯松一柏名"杉"皓長蒼有一央" 華笠茜綾珠" 一井城花央穹五楓橋芳文二月 二花 手森2苑代祥花 野嶽橋 原象月悠 雪松菜社ま扇戸葉心東 月 花翠穹象路 雪原 華紅 絵
赤小脇伊門森植加竹齋柏阿武谷浦清圓久湯 藤原一忍湯佐赤藤小滝加市河本後岡桑桑東藤清伊八金吉田未山中渡北大山越一子森安久門山吉高一武宗佐近比口藤宮田村藤田藤野部居原水藤保田 原野丸ツ足本藤堀森山田藤川西間藤田島島岡本水藤谷子浦中田岡山瀬村池本谷糸1本部保駕村田橋 藤像久佐賀梢亞順え萌凍愛優瑞遙典立美由和祐坂 岳彩す寺頃畠未裁須華紗悠沙玲健瑞八豊花香郁彩健虹千敬惠涼美夏ゆ彌久愛信ひビミヒ田里優彩由実涼キ
竹右八愛晏 杉帶南玄茅東船長柏溪"李一有大石星美蒲山美有葉晴華大平城伊大八中" 笠小若書竹中石霞玄練 笠富た汀琥鍊千聖杉"一小文土飯硯松神華文南墨心4 中墨耀野根橋寿芳月 光路虹手峯 二田愛菜穂月美雪阪成彩墨阪朝央 原光葉集華野峯墨獄馬3原貴け松山馬曲 路光化筆田扇戸奈
柿菊落鬼平級古美下坂飯那伊岡羽中小金森坂藤柄根向神佐鶴壇三石田針沓清唐大小仲小寺西磯橋伊中唐望見兄荒竹鈴松浅平吉宮清鉢佐井大難田小高内沼池合十林 川惠平本鷺須月澤田川柳子慶俊田原本井澤岡上木澤島寺道田澤住林坂田島川野藤鳴津月玉 井之木村野岩里澤木藤上橋木能檜野有光早加か 節子慎ゆ洋大晴利龍光水龍子哉美文和美瑞和真太草直喜夕真彩米陽踏步千原あ祥優ル由巴清利 昌内楓友洋菜めか簞香咲和信優す麻美由
善"大柏駕星曉玄笠大" 杉玄船柏中玄星 浅秋ひ" 大長有曉光大山大一霞照小玄大峰み紅高有培書玄 千有杉"華成" "高" 大長船" 山書笠游東大淀 淀芳後 月默原版 默橋芳野心 6間川ま 淀野穂中象愛手路墨森澤光澤阪心 5曲象 雪城 飛 淀壽橋 愛集原墨陽阪
川岸福中生近山小塩落山野上神上山柳田 級原野中佐中子加唐友渋納藤吉塚堀佐菊横今富鈴中下朋鈴横三松級 小永笠小鮎宿宇朋明寺道井石下大石渡真清若口本川澤藤石晃石原合谷田原谷條田澤村 露沢村々西塚藤木野谷田澤内藤山井田木村垣里木山浦本 林井原暮川井坪城里里本喜向曾間棚川辺り水井啓早順ア洋婷あ朝良直三暁萌和早光 予卓育木住里暁和紀佳幸愛み紀彩美恵幸君陽美雅美悠明加 愛晴蜻千咲信利仁真三正孝根由茂静真奈智伸
玄中美游"埼" "杉" "埼" 大光若須月柏" 葉瀬柏頑練" 杉平玄大曉碩光 倭汀四杉柏崎美産大" 光大和曉富錦泉李備崎玄大光備" 東" 長竹" 玄葉サ華嶽勢一墨 玉 玉手丘宮坂 芳 月戶芳雲丘馬 成嶽田月雲丘8 雪松谷 玉芳那吉井 丘手 月貴黃華光後玉成井丘後 根 野華7心月ノ雪
田浦榎鷲高吉小渡森北吉三須増田神竹福吉藤真黛須平長石遠田中宮大高級 宇松高佐大真ス大飛古須イ奥藤波柳簫梗柳鈴豊池水峙高久植笠巒級 中児平中中田本田村沢林會朱平長輪田原鍋崎内土原沢篠ひ田有戸川山中島部工構 野田杉藤園下ミ村田谷田藤田平多澤藤本武木原田野比谷保村井谷 西玉山畠幸恵弘悠大知毅正然音龍香桂明東隆沙良幸永和良よ歩加智友上美咲暎原裕 育漫優由多舞スし如麻千圭主朱野真葵恵和愛由惠虫佐華多元瑞教 夕光慶麻
大巍僕須聖大サ茅" 芙京" "苑" "苑" 八水八静高玄霧" 葉瀬聖" " " 北サ" " 北サ梓李備碩笠高" " 大坂山 坂 阪ノ野 五都 横代南 風撲訪 月戸 府ン 府ン森雲光森雲 原風五仮
熊須西木大星小平茂み澄松花濱白佳鉢渡唐遠新白渡波久渡梅吉空鉢指友尾宍佐伊林田幸花鳴片山百段名
野田山下畠村野平野田な 田村田井代木邊川藤倉井邊多保部津戸富木田里形戸希藤野佳中岡 山瀬田 美宏美典波平里尚子美匡縁めし子恵哲綾立善陽野田美八度差惠亨憲千子惠と連順江子雅典真
雅玄奈笠書華葉瀬錦大心京大 善小萬" 華光隠玄笠東三東相珠嵐杉芙蓉" " 新產華沙正書靜" " 游" 產土横蒲大六光珠美大" 華" 玄神さ柏宮" " 笠大宮 嶽原集雪月戸黄淀和都象準隣光 那 雪丘辺樸原光林陽模紅山 一川 城吉雪羅桂研山 墓 吉筆二田阪会丘悠象 花 黒龍わ心地 原阪地
夏權淺吉熊伊衣石須武西齊段土山吉小小廣山古太伊土青筒大内増青池面和志萌小鈴優菜長青木井小村 小松田田鈴半響小样梗三中丸罷大中小吉古高信葉田野水田藤 黒江内沢藤井 田田町島澤本屋田藤屋井菅藤井木田手賀田 林木 墳木村戸原野田本中中木田 沼 神川山原谷野松水田橋子光悦安勇知利民錦秀由伊雄 凰成富谷華華由葉荷明千竹江レこ響理悦麻世彩禾華千美月佳由友原昭則明佳満美裕知選宗花花五圭祥節真彩広木羅子
松華橫 中丁松柏橫書長須名天八有" 秀笠" 横八大綾サ墨文桐神奈北八平雅若杉" 碩中" 宮倭若一產秀書珠北" 杉相墨秀大宮" 笠新紅伊磯" 橫靜新和聲雪二準勢松戸心二之翠坂東象戶象 雪原 二南阪華ノ洋化生林華府南成 松 雲野 四川 竹絵吉雪集紅府 橫洋雪阪地 原城竹那辺 二山城
武三齊段川林杉室熊咲小白和土光早保小角宮高新片島石青川木倉菅細渋栗原小宮布文士中 段 木楨福麻遠河梅鉢小哉澤松竹石大牛若杉渡中伊能田高今石大木田蘇 原本賀川林木仁井 川坂百合澤川 橋岡木村料田谷原口田入 崇屋 戸田生峰邊由木林木本末澤川井丸山辺村藤野島橋井森ミ華蕙 田絹綾光奈桂千敦雲扇静美合雄帆繩珠子照美千保豊千雅政智佳由杜真江鐘釣 坂靖雅礼櫻里正良嘉草舟正香祇祓和真江晴美孝薫盛草子淳
游サ書汀嵐伊" 八美須董革新野新霧帶玄美豔美若富咲顧 濱源有陪千雅政智佳由杜真江鐘釣 坂靖雅礼櫻里正良嘉草舟正香祇祓和真江晴美孝薫盛草子淳
赤松鎌明鋸林持小川本木水櫻松丸発井鶴関小坂梅森段 加鈴宮田藤牧冲寺石西瀬節小長塩鳥小都池篠比藤江赤佐村本酒周名柴佐黒池川川須理八喜宮中新井田上 屋か田林名多本内下山 上木弘張塚齊澤知 藤木本中井野真尾原嶋古 野岐峰海田竹田田 橋戸澤藤石間井藤 田々田田田藤 千久山内井 恵眞小美お倉弘千静日淳永皇朗美盛子貞白和眞子 智瑞香恵有博由春幸洋清真昌喜み貞昭恵理泰彩い恵峯江愛和文志礼木菜晶が美香香代男紗か美
笠長靜東芙大虹瀬葉志正玄 汀 正石皓八笠美八若青倭光柏聖若" 中青八奈硯寶春玄" 華大長八長汀 帯琥石麗横汀長" " 杉靜華横善妙花倭靜大横宵文原野 根五象友戸木摩桂鑑二松 桂峯花潮原五潮松雲 丘心 松 野雲戸華扇春玖耀 雪阪戸野松準中山峯墨兵松野 山雪浜隣高苑 象浜月化
古寺赤齋齊澤淹澆柴鷗川清段明一小菅鉗鈴中原中加武小加合宮乗豊佐馬工阿藤森金藤星榎田相谷細順段久東野折織み油吉前鉢黒門森詠佐五石林林清長錦田島澤藤藤崎村崎端水 / 林原田木原澤川藤田礎藤葉下田田々場藤部本尚澤林野谷中木地昇 美瑞澤笠戸す科田田木田駆脇 藤月原玲照水山和ゆみ由百梨響ち修和由満 美瀬智節み彩宏朱美昌弓典政詔藍八枝木い和敏竜佳孝華あ愛美春子子 光高琴晨子ま煌百蘭葉華英草伴女律奈子川俊節
若花玄中京宝大錦李優笠秀城東八玄中正伊書蒼、長書" 杉小書伊中玄八" 大書" 信游宝長瀬華" " 玄勝若曉信四富書" " 有秀" 藏新大青八" " 松苑野都春沈黃生元雪光戸燭勢桂墨集匂戸翠之 平象集墨央成潮 象泉阪 大墨春野戸月戸 雪 煙木松大谷貴集準 象雪 星雲霞 潮
加北松澤西筆松菊飯字篠耀平星小藤込宮唐昌木金小岸杉根岸愛小湯平木小島島及林伊佐長小中安鈴大青橋山谷平久小高段 近清甘藤馬多武青松仁保白藤村澤本川宝下池塚田之百田真笠山岡下澤山村 見林波村津野 山澤野村澤千川珠藤久竹霜西藤木立川島遥邊保柴橋 薄水中收場美居木 平茹和す裕と邦子百鉢亮川井由真后夏裕米和香 純夢勇和告澄麗真美彩裕春翠令問雅復智敏め清親晶華紫高田清 節麻候稟子す弘順蘭賀紅
柏巍巍長高玄サ産一國雅さ玄" 玄" 華東皓源華こ光 倭秋静優杉八美柏若秀小有信笠和美奈大長和大皓硯勝様八玄蒼八須沙華峰小石麗 一静美長杉柏心山 山寿風樸ノ吉路府 わ嶽 煙 雪花陽創雪の丘特" 川" 生 南二心竹雪光象大原 二華阪翠 手花 木森潮黙穹戸坂羅雪 平峯準路 二翠 芳
飯福齊加柴小泉丸大鈴保玉村松坂原鶴村清宮染火級大松大長南谷田清川浅村堀荒松島統山大田久西木田百小影間田青富森山山唐西段 鈴大荒高成島里山藤寿林さ子木谷井山澤本誠原吉早木本谷川野 野村井崎南眞臘中水上野本内井本部 田池島保岡村部瀬林山宮名木崎清下中津島 糸木島井橋澤真理雅真らしい香緋カ直茂ゆ子潔露苗由紀里和 文希麻暉満知立惠勝典昇尼ら昌智賀智由久静祐由早白湯浜花部薫則果石真由美 ひ清さ優葉衛
水杉有京小游當中若こ倭富帶曉星中梓書珠三小唯大磯西北高 曜秀茅亥愛若美こ倭" 笠霞乙千練美千綾" 秀勝皓華小女若志サ杉 簾帶柏葉杉富二代 象都光墨土野松の 土中月 野森集悠他平心阪 月1雪野撲心竹二の 原墨訓曲馬二曲華 雪木花雪平心竹摩竹ノ 横墨文中芳月 貴象
山清紀中真高中東清赤米田阿根中奥石岡溪藤今濱酒坂西谷段唐有小堀鬼上柏高齋渡歌桜永吉吉刈安小中田後坂長羽越小倉相平室穴級 砂心後野石歌本野 野島里橋岡田岡田名部本原谷川井 泉井田井口田川 木池内十原野橋谷川井田崩井麗川藤川腰谷山川野谷原山原田 藤田橋 文草子惠眞奈真爾香品裁雲道と美絅静八風京裕真尚有真裕 晓菊あ里加京瑞智美真円晨智め真加由千希美藤儀川淳裕良由慶那義 惠あ舟菜三安
皓高秀八曉大崎" " 笠柏大長秀小 長美大" " 美星秀曉珠皓大" 美星輪曉瀬瀬 笠柏大吉石右秀書有四殊新土文大平華秀こ若花社雪南月象玉 原芳楓定寿雪光 4坂墨井雪石菜手路 雪 月丘山悠花内 菜 華橋戸原3原南芳摩文田峯雪集森象谷悠城筆化油阪成雪雪の竹2
北清熊山周田眞市河山羽植道浅八木蒲 級針小本門宮森藤松佐生宮酒柏鶴脇山山大田吉松神林抜級 宮落竹山菊安櫛河橋湯越竹高重嫡大保吉櫛五田松柄級村水澤本吳中下川西村田喜木村原 寿森島脇下美田部井々石部井崎田口木本橋村田島谷梨原 合原田本池田原刃野田谷下田松 橋井村谷川十本澤瑞彩ひ詩停百舞沙玲優龍萌正とあ智美 喜朱千里如希美花眞木洋曉秀富鮎梢幸霽明光真晴美香朝 桜早愛伊光完文真祥坂信惠ゆ千光信均久佑嵐緩綾悦

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）





暁山・久喜・藏・漢月・玄獄・硯扇・源創・玄機・玄默・虹苑・皓花・高社・紅竹・高風・虹友・琥山・この葉・彩筆・桜木・さざなみ・さわらび・サン・山愛・杉月・シーバス・志摩・秀雪・珠紅

準 3 2 1 準 / 初準三準二準準 / 六準準七準特 // 8 5 7 8 1 四準  
 三 △ 上上初 段二段四六 段六段八待 // 溪 級 上下中上段四  
 ☆ 便 ○ □☆☆○ ☆□毛支清九筆酒清丸上三奥  
 帽 畫 藤庄吉中帰酒中藤竹木桑内帰山藤桑木竹伊  
 畫支清九筆酒清丸上三奥  
 山▽田田江澤山井野田内澤野田山下田野澤内藤  
 部水山▽井水山條島原▽  
 可め直相可康熙望ク帰泰麻時典萌那美希大  
 犹智真 美智真 酒娘  
 沙遙結沙奈女心董舞心未こ 空理維寺木さ夏花遙  
 俗志は羅妃は紗雅穂御

準 / 五準四準特準 // 4 8 特 8 6 // 7 6 準 5 4 3 2 2 特 / 初 3 2 // 準 / 初準三 / 準四準準五六七 準 4 特準準 8 3 準  
 五 段七段八待一源 級級 1 △ 下 中 上上初上上下中 1 段下  
 創○新○硬新○○○☆  
 箱小佐杉乾岩市支石新吉若筆水石吉若内野山鶴岩香水岩野青吉佐新吉相内橋本中田友宇本仲佐恵松橋廻相八木佐  
 筆支福田松永桶岩筆支  
 崎田久野手井本部戸川良林木戸川林田澤戸口藤間  
 上間澤木田藤川良場田本田林村近佐庄野原々 丸本部藤谷田藤部戸島▽  
 城村中村沼川田部  
 大千間陽野愛翔 淚湊香流 美袖心歩琉幸奏塚持淳音涼絛光明涼凜例詩桃咲優伎隼集涼袖美奈綾か木多真和ひ源悠明胡真  
 大 琴大優裕翔晃德

初六 8 8 8 // 7 6 5 2 1 8 7 1 / 準 8 8 4 / 特準準 1 三四準三五準準準特 // 6 4 // 4 3 2 2 1 8 7 5 3 3 // 3 2 / 準準三四準特初四準三準  
 四段△上下中下中上上中三下上 2 初三下段六段六八四五待 △玄 下 中上中上下中中下中上  
 四段△新△新○○○☆新○○☆  
 野南永源秋岡土勝鳥寛浅川清北城佐秋永森伊増彩野富岡勝南清城浅北岡井南支石農上小箱時鹿上福水芝東上堀前竹山中中氏工矢時中中藤山鶴堤  
 澤紗▽富妃田村井間居 野瀬田川戸々田富藤野 澤印門賢田戸野川大穢少△京口田山崎政野野永野田船崎山内川中原井兼藤野政井原澤本寺最  
 瑠英 元花輝美和枕暉了新瑚佳葉篠木樹文忠脅優乃瑠菜真明成美馴播深樹京英 聖太愛かゆかまあ皆哲百真も朱瑞美已佳花彩海み佳楓美杏祐昭太

4 3 / 準 2 特準準準三 / 七準 // 特 // 8 初準七 // 8 8 7 5 5 4 2 8 7 1 / 初 3 2 6 / 準準準三 // 七準七特七 // 特 8 1 7 8 7  
 中上 初中 1 三四五二段 段八 待一虹 級級六段 △下 中上中下中中段一中 段 六段 六七 八段八待段 待  
 ☆ ○☆☆  
 毛苑○新☆四△☆硬新○○○○☆○☆  
 山角井森角高健奈萩小秋真榎鹿鳴片宮筆支吉透飯布菴筆染吉高斐透染廣布富加新前秦飯新加染吉今西梅通小廣曰泉廣佐江梅通涉小筆支秋川利次永  
 下玄口下春橋屋良尾西田尾壁本山岡田▽部森川島山谷▽谷川森川島山藤井谷ね森井川山川村津 林谷倉谷田藤刺津路谷△部田 潮田富  
 晃哉芽利華澄雄祭隆理樹朋美麻千千 結の香合愛路 杵の結こ香結美直桜綱昂菜咲天杏裕隆利愛蘭慶凜世太勇真夢路あ由家乃あ和胡 輝了瑚樹文

3 3 // 3 2 2 / 特特準 2 1 準二 / 準準 // 四 6 / 特 // 準準準特初三 // 準 // 四 // 準五準 // 六三準七準準五準 // 準特五準 // 準 // 特 7 3 8 //  
 中上 下中 2 1 初中 2 中二段 三四 段上 1 二三五 2 段二段 四 段 五段 六 段六段八五段六 八待段六 七 待△皓段△中  
 ○○○○☆☆○☆☆○☆☆○☆☆  
 清中蒲森岩中清道畠酒松前大岩郡田中小軒重島杉古前中中砂米直岩郡松清田前岡北藤森森坂河中小大前北森荒中度直坂坂北坂前筆支山内筆支山松  
 水村哲下山村水上中井山澤坪村坪司口田坂澤田山村田坪村井田口木下村本合村田坪澤村下木村辺井田本中村本野▽部下田▽下虹  
 陽道直凜に瑛美馬明拓晃星天奈美真季美真豊鈴天野七日良慶真考陽翔心亮奏郁小美紗好耳好利琳千朋明星心那紗惇ひ達伸望桜晴 結構

初8 6 1 特準二三 3 2 準初準 // 五 5 / 準準三四準六準七特三 // 四準六準七準 // 準準準七 // 準特 5 2 1 特準特4初 8 // 7 // 6 5 //  
 中段中上中初段下初四段 五段中 初二段三段五段七段 1 段 △五六七段 △六八待七 高級二△一級段△下 中下  
 ☆ ○☆○☆○☆△☆  
 清多烏島飯杏青尾上渡駒山増田山坂宮飯山阿上大宮城小岩清渡坂青田西青北畔小佐新駒上松湯富深筆支牛小岩浦細松鶴中今下中藤牛中堀酒岩小  
 水田井竹島 木池原涙日本中嵩澤島崎部岡野矢井本山村水辺田木中野 坂柳原上山藤津津野田本岡海▽部丸田村哲中坂山▽井畑木本丸本枝并田  
 大麻琴亞草美流文那由沙真茉悠祐里菜糸な優鷹優佳英晥大佑真貴優利葉早見唇小紗真大は天惠愛美 紗影飄美彰拓季野 和七音さ紗愛友彩志歌  

準 3 1 二三準準準 // 8 8 7 6 6 3 7 6 4 4 1 特準 1 // 特 6 初二三準五 / 六準 // 7 1 特準 7 準 4 7 // 5 3 7 8 // 初準四準 7 8 6 8 4 3 3 3 1  
 初下下段四五八△虹下上中下上中中上下 1 初 1 1 下段六段四段 段七 高級 1 △二中三段級 △段三五  
 麦毛 ○○○○○○○○  
 風△硬  
 青西鎌手吉白佐石筆支吉八近大吉川廣近川山開川羽八立藤里田高関宇川吉清川山川支宮筆深松佐深湯宮大三橋筆支金多飯駒上大青  
 柳尾田島村井々堂△部岡木藤塚川崎部藤崎嶠優崎 木田田見辺島明城崎川兼崎崎田原部△井井藤井本原敷富吉▽部子島津野矢木▽  
 原野原子原澤野矢水 莉由悠由弥木△心秀功優愛藍智大菜明里春音誠美晴千毛花瑞日真貞虹彩倭 龍 寛歩の孝春龍笑杏 海大悠由風優彩 綾友海桃香有明

準七 / 準特 // 7 6 / 準 // 4 2 準 // 準準 // 5 3 1 準 // 7 8 // 8 6 6 6 4 3 2 // 8 4 3 8 8 1 1 / 初 6 準準 // 7 7 6 6 4 6 4 3  
 七段 八待△ 標級△二中四 中五 六彩級級初級△下 中下上上中下上上 △中下上中下上上△の段六四六△中上中下中中  
 木0000△☆○○毛筆○○○○○☆△硬△新○○○○○○○毛筆△山○○△☆硬△○○  
 山平山山△支熊戸小筆戸小北須霜木戸筆支渡池多松白鷺戸矢江平矢渡高池多松清石白中江坂高坂清筆支△平清小△支柴菊鑑永白  
 戸山澤口下田△部井谷林木戸川田谷△部辺認賀木井澤▽谷藤林木戸橋辺賀木田村井島藤口木澤口田△部垣木村宮部他澤黒田  
 依佐紗彩 菜絞如莉墨麗山沙遙 樹鷹谷岬心葵 大桃軋結樹鷹谷岬 樹鷹谷岬舞七心芭昇正真葵菜波 ▽部優里優遠夏 真唯友ま  
 真莉木唯友志泰凜

8 // 8 7 6 4 4 4 準準 8 7 特 // 準準 // 準準 // 7 2 6 二六準 さ 5 4 6 特さ 6 4 3 4 3 1 準 // 二準準準三 // 四 // 準準三 // 五準六  
 下 中上下中上初段四六下上 2 初二 八△サニ△△八△上上段二段八△わ上下段待さ上下下下中上下二段上二四五段段 五段五 段六段  
 新○○○○○○○○毛筆△硬△  
 名石佐大倉高蒲山渡物松吉東石杉丸渡清石渡清石山清渡津長小坂佐與丸筆支松鈴名倉松丸石筆蒲保松鈴  
 壇垣鰐家持宗津市本部尾井條坦田本子辺本橋△部越野上越木田泉部△支川島島支野村藤尾田木尾原下川田口下川郡邊道藤野田  
 憬結麻茉美乙花那茉海杏知紗礼愛美一桜陽愛彩 勇 ひ祐勇彈望美紀 ▽部亞大咲万部亮友美大輪維海亮梁綾惟瑚果奏征は莉夢飛海怡友輝花喜風麻

7 // 6 6 5 3 2 1 準 8 8 8 6 4 // 4 2 特初準 7 6 4 4 3 3 2 // 1 特 // 準 // 二準 4 3 1 / 準準準三五六準特七特 初 // 8 4 準準 8 5 準  
 下 中下中下初下中上中上 1 段二下下中上下下中上 2 初 段四下中 初二三段段八待△山段 級級五二七△下上初  
 ○○○○○○○○○○○○○毛筆△☆☆△硬△新○○○○○○○毛筆☆新△☆☆△硬△○○○  
 花中山山△伊渡原滑田柳小澤石高小澤渡柳森近木塙子植柳小中福中志丹浅岩中丸浅山橋若鈴亀清松渡津長小坂佐與丸筆支松鈴名倉松丸石筆蒲保松鈴  
 井西口△東邊岳川村沢元田橋松竹遣野田正村安田沢島本山田島山齋羽崎嶠村山口本谷東木貝木岡唯曲谷山澤本野山△部尾村烟時尾子橋▽  
 壇尾村尾風呂欣春和果凜禪心霞大むじ佳禪心懸心優陸良真千舞百驚葉萌佑鷹ひ穂久あ楓彩佑知碧穂真和川華未百良澄み 紗羽淳美知一愛 景優紗冴

// 8 5 3 3 // 6 6 2 3 2 // 上 1 準特準 // 準 // 準準三 // 五準六 準 // 6 1 1 特準 3 2 7 // 8 8 // 8 7 4 // 8 // 8 // 8 // 8  
 級級 2 級△下上上中上 1 上初 4 □四 段三四六 □四段 段八△杉 級級 1 △三級段△中上 下 上中下 下  
 000000△硬△○○○○○○○○○毛筆△新○○○○○○○○毛筆△☆☆△硬△新○○○  
 大中大青草大中わ櫻浜白稻江增大近大河大田河青苔櫻藤中小越長鎌柴山佐清筆支藤坂石井澤中花小淺谷坂丸筆△石井岡坂井澤和小坂  
 岐山△上森龍△井端井村上田森藤合橋中原豊龍井原山田谷元田田岡々水▽部内橋上田西井島井田口山△村見本内上田橋田藏澤辺見森野澤  
 強功大な結ゆ美 功大な絆彩乃凜結れけ茱孝実美あ茱美唯々さ太お碧虹直優莉理木創 夏心奈侑驚鳳千久鉢純み 大香紗心侑驚奈莉葵柚百音優寺悠子

六准七五 / 準 // 準 // 七準二 / 準七準特 // 準特 // 6 3 準 1 初準準四三特 // 準特 7 初二 1 準 6 5 2 7 1 準 // 準準5 1特 // 準準四七 // 準  
 段七段六 七 段八段 段八待八 待△秀△上上三段二三四段段△下二中中下中初 三四中上1 二四段△七△八△  
 ☆○○○毛雪△☆  
 清松相伊井小藤凜大沖竹所大門山田所青上肥平宮筆支中大人大森東前竹大西奥山支樋相鈴山筆成小富竹樋相呑中成森竹鈴田甘笠町和庄中山  
 筆ス治谷崎藤上牧原 原山道澤雅野平間内逢健柳原松下△部村西西村西本山内西村田岡部口木下▽田山山田口沢玉宮山島原田木川利井田村島下△  
 万莉良優桃由茱来和菜大芽美吉愛翔あ晋斗早秋来天莉 悠永希涼出伊早光瑛寧夏結 祐福海紗 し優峻結祐福に梨愛風美海桜乙南廉瑛弘新紗 ▽部

// 特 // 8 6 // 8 // 8 // 8 7 8 5 4 4 4 3 2 7 // 6 5 1 // 1 特 // 準 // 二 // 準 // 準準 // 8 // 準三 // 五準六特準準 // 準 // 準  
 待△珠 級級△下 中上下中上中中上 中中中 2 初下 中 2 段二 段三 四五 初段段2 初三 四五  
 000000△硬△○○○○○○○○○○毛筆△新○○○○○○○○毛筆△☆☆△硬△新○○○○○○○○毛筆△☆☆△硬△新○○○  
 菓一筆文松中和菓栗小廣中西松若鈴福高梅新吉原伊澤井小高藤山中古辻朝石吉和小 東新今小憩若菊粟廣土森飯野糸阿肥福館大小有勝佐開宮渡衣  
 ▽部井野本村田△井野瀬村本部菜木田橋田居原 藤田手尾木田島上澤寶熊塚井田嶋松外道菜地井瀬山島鷲嶋井田田平野馬村久風下辺  
 加実 貞澤彩美夏 貞澤愛美圭彩遙礼万星ひ開田美巧礼ひ泉愛桃菜帆結心花玲ア優夏 犹田梨城連翠美優蒼理静亮ゆ智由陽空明麗寺花溝間樹詠京

珠紅	特	特準初準1	準三	準四	準五	一五	準	七	準	特	8	8	4	3	4	1	1	準	5	1	準四	四準	一七	準				
珠悠	1	2	初段下	四	三段	四段	五	級段	六	七段	八	待	△珠級	△	下上	上中	初	三下	上	四段	五段	七級段	八	八				
春鳳	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	毛惚○硬	△	美莉	丘	快	心	ち	稟	眞美	由	水吉	明彩	青由				
小光	奥青北森	三坂	中富向	水村	平山	鹤玉塚	小高田	松吉	吉鍵	大丸	小川	永未	平信	立荒	八水	八山	奥半丸	筆支	美芝	莉丘	快	心	ち	稟	眞美	由		
城彩	手木	辻柳村	田川	田口	中家	科田	井崎倉木	中崎	村田	谷口	前久田	廣家	田井	川木	木口	木手	田口	△部	△	逸	陽	侃	未	美桜朝	朝			
松聲	耀優	楓紗奈	航未仁	桃夏	理杏	実夕	大心	葵奏	健陸	真実	歩紗	夏保	乃	優碧	陽	杏	茉	久彩	悠	敦	璃菜	莉	幸	紅咲	風	晴		
知床	△	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	毛光○硬	△	毛鳳	リ☆☆	硬	△	△	☆	△	☆	△	△	△	△			
新城	8	三五	特準	6	8	7	2	8	6	準準準	4	3	特準準準	三四五	六準準	四五	準	特	5	特	2	準準七	8	7	5	5	3	
瑞祥	城段	六	△	中	上	下	上	中	三	五	下	下	四	五	三	段	六	八	△	△	春級	七六段	△	中	上	下	上	
杉	△	△	☆	○	☆	○	○	☆	○	☆	○	毛光○硬	△	毛鳳	リ☆☆	硬	△	△	☆	△	☆	△	△	△	△			
須坂	支井	八井佐	小藤	筆	井	大阿加	松石	大井	八井	小佐	菊松	吉	萩村	坂石	曾	小稻橋	笔支	和	筆支	五信	水山	森向	富永	三吉	塚押	小松鶴		
鈴鹿	部	田木	上々野木	本	▼	田久	藤山	島角	木	上	野	池	田成	原	田本	橋我	我	甲场	本	部	鷲	藤口	△	優	井田	田崎	川村	木
硯	詰谷	野愛	涼林口	幸村	林松	▼	山	崎嶺	野	賀	良美	本	本	森	宮	口	口	山	本	平	山本	浜	池	平	浜	水木		
青雲	茅	優	咲知	咲	音陸	涼浴	歩	桃	千	美	有	佳	蔵谷	絵	紹	瑠	沙彩	有	梨	結	優木	悠	未	杏	葵	慶	部	
正桂	湖	征雅	悠	知	根	直	伸	脩	慣	千	好	瑞	増	凌沙	詩	光	菊	美	龍	優	香	梨	涼	涼	涼	涼	秀	
成城	1	3準	3	4準	2準	〃	準	特	8	6	5	特	1	準準四	四	準	8	7	2	準	4	1	特	3	特	1	準特五	準
静翠	下五	下	中段	五中	六	八	待	△	新	△	下	中	中	下	上	中	中	下	上	五	松1	△	下	2	上	六	段七	八
石峯	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	毛支	△	毛城	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△		
仙台	橋菅	菅	橋奥山	岡河	神山	岡越	神重	筆支	文	支	倉	瀧賓	演加	支	湯河	小	古宮	酒廣	湯大	込	筒野	野	齋	明澤	中大	橋在	齋淹	
蒼穹	詰谷	野愛	涼林口	幸村	林松	▼	山	崎嶺	野	賀	良美	本	本	村	松原	山本	井部	森	本	口	口	山	本	平	山本	浜	池	
大象会	茅	優	咲知	咲	音陸	涼浴	歩	桃	千	美	有	佳	蔵谷	絵	紹	瑠	沙彩	有	梨	結	優木	悠	未	杏	葵	慶	部	
たけのこ	特	準準	三	準	四	準	五	準	六	準	七	準	八	準	九	準	十	準	十一	準	十二	準	十三	準	十四	準		
竹華	2準	六準	準五	準六	準七	準七	特	二	四	準四	準五	準五	準六	準七	準八	準九	準十	準十	準十	準十	準十	準十	準十	準十	準十	準十		
千曲	2	準六	準七	準八	準九	準十	待	△	新	△	下	中	中	上	中	中	上	中	中	上	中	中	上	中	中	上		
茅野	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	毛支	△	毛支	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△		
中央	木本	友	星白鶴	山	松閣	高永川	松	支筆	筆	支筆	筆	宮	野	宮	野	山	小	今	鶴	小	秀	筆	支	菊宿	大	河品	茂鶴	
長寿原	田	井	大	土	松	木	井	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	
月	大	土	長	木	松	木	井	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	
土筆	田	田	木	井	松	木	井	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	松	木	井	田	
汀楓	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

汀楓・照澤・東陽・内藤・中野・練馬・白山・柏心・蓮田・葉月・晴美・半田・光ヶ丘・聖・ひまわり・富貴・富士見・船橋・書之会・芙蓉第一・芙蓉第二・芙蓉第五・平成・宝春・星・洞・松戸・三池・水代・美苑・美菜・美那・湊

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。





秋季

# 昇段級試験

## 師範昇格試験

要項

### 師範昇格試験

出品資格

準師範試験 一般部で準五段・五段の者

師範試験 準師範の者

出品規定 昇段級試験の一般部規定に同じ

出品規定  
出 品 料 一体につき  
☆準師範試験 四〇〇〇円

☆師範試験 五〇〇〇円

左記の要項にもとづき昇段級試験並びに師範昇格試験、特待生試験を行います。ふるって力作を御出品ください。

### 昇段級試験

#### 出品規定

- 小・中学生
- 中学 生 一 点につき 五〇〇円
- 中学 生 一 点につき 五〇〇円
- 小 学 生 一 点につき 五〇〇円
- 中 学 生 一 点につき 五〇〇円
- 小 学 生 一 点につき 五〇〇円

#### 十一月号の毛筆規定

#### 十一月号の硬筆規定

#### 十月号の漢字条幅規定

#### 十一月号の隸書条幅規定

#### 十一月号の行書臨書規定

#### 十一月号の楷書臨書規定

#### 十一月号のかな規定

#### 十一月号の硬筆規定

#### 十 月 号 の 漢 字 条 幅 規 定

#### 十一月号の隸書条幅規定

#### 十一月号の行書臨書規定

#### 十一月号の楷書臨書規定

#### 十一月号のかな規定

#### 十一月号の硬筆規定

#### 出 品 料

#### 特待生試験

#### 出品資格

- 小・中学生で現在準八段の者
- 小・中学生は昇段級試験と同じ

#### 出 品 規 定

#### (級位用)

● 小 学 生 一 点につき 五〇〇円  
中 学 生 一 点につき 五〇〇円

#### 出 品 先

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六 上條方

書象会竹内藍山あて

締 切 日 十一月二十一日(用)(厳守願います)

#### 発 表

#### 出 品 規 定

#### (級位用)

出品者あて成績通知をもって発表にかえさせていただきます。

師範試験及び特待生試験の合格者は「月号誌上」に発表の予定。

#### 出 品 先

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六 上條方

書象会竹内藍山あて

平成二十八年度

実技講習会 「信山流の技法(半切・条幅編)」

平成二十八年度の実技講習会を左記のとおり開催いたします。今回の実技講習会は上條信山先生の書表現である「信山流」について、半切・条幅の制作を中心に実技講習会を企画いたします。  
お仲間お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

◆ 日時  
受付 十一月二十三日(水・祝)十三時三十分～十六時三十分  
十三時より

◆ 講師  
書象会副理事長 中村巍山先生

◆ 内容  
(予定)

◆ 持参用具  
(信山流の半切・条幅の表現について)(講義)  
(信山流の半切・条幅作品の制作)(実技)

信山流の基本技法を用い、半切・条幅の制作を行います。

講義および実技の資料は会場で配布いたします。

◆ 持参用具  
書道用具一式

大筆 小筆  
墨 紙  
硯

固体墨・墨汁  
普段お使いの硯(墨池より硯がのぞましい)

半切  
下敷き・文鎮・水差し・新聞紙(一枚)  
筆記用具

武蔵野公会堂  
三千円  
三十名

書象会本部までお早めにお申込ください。

◆ 申込み  
会場  
会費  
定員  
申込み  
書象会研修部  
0422(53)9743

書象会研修部  
0422(53)9743